INVESTMENT SCHOOL

シグマインベストメントスクール１級取得講座

専門科 第144期のご案内

（2026年10月開講）

当スクールは、優れた金融理論を学ぶ場を提供し、金融実務の向上・発展に寄与します。これまで、受講された多くの方々より高い評価をいただいており、今期も自信をもって受講をお薦めいたします。是非ご検討ください。

第144期開講コース

- ■ 金融リスク管理コース
- ■ コーポレート・ファイナンスコース
- ■ イールドカーブ分析コース
- ■ スワップコース
- ■ オプションコース（実務・応用編）

第143期開講コース

- ◆ クレジットリスク分析コース
- ◆ オプションコース

通信制（e-Learning）コース

- ◆「研究科」金利モデルコース
- ◆「研究科」キャッシュフロー分析応用コース（粉飾の発見と企業再生）
- ◆ デリバティブ実践短期習得コース
- ◆ 不動産価値評価実務コース

シグマベイスキャピタル株式会社
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町1-21-4　セーラー第3ビル4F
ＴＥＬ：03-6222-9843　ＦＡＸ：03-6222-9842
https://www.sigmabase.co.jp/

第 144 期 専門科開講にあたって

シグマインベストメントスクールは 1990 年の開講以来、我が国唯一の実践金融・投資・企業財務理論の専門教育機関として高いご評価をいただいてまいりました。現在では、官公庁や内外の金融機関をはじめ、600 社を超える企業様とその従業員の方々にご利用いただいています。

このたび、おかげさまで「第 144 期 専門科」の開講を迎える運びとなりました。当期も各分野で優れた業績・研究成果を挙げている講師陣のもと、“実務に役立つ理論修得”を命題に、基礎から最先端に至る理論と実務への応用コースを開講します。

特にカリキュラム編成・講義内容・講師の選定には注意を払い、常にベストな講義の実施を心掛けています。また、すべてのコースについてオンラインで講義を実施するよう運営を見直しています。受講期間内は時と場所を選ばす、いつでも繰り返し学習していただくことが可能になります。

急速に進行を続ける業務の高度化・多様化に呼応し、高品質で時代要請に即した当該教育への企業ニーズと重要性は、ますます増大するものと考えています。このような基本認識の下、当スクールでは今後ともその使命を全うすべく日々精進して参ります。

今期につきましても貴社人材育成の一助としてご活用くださいますようお願い申し上げます。

2026 年 8 月

シグマインベストメントスクール 学長　田渕直也

シグマベイスキャピタル株式会社 取締役社長　荒崎秀一

今期の募集コース

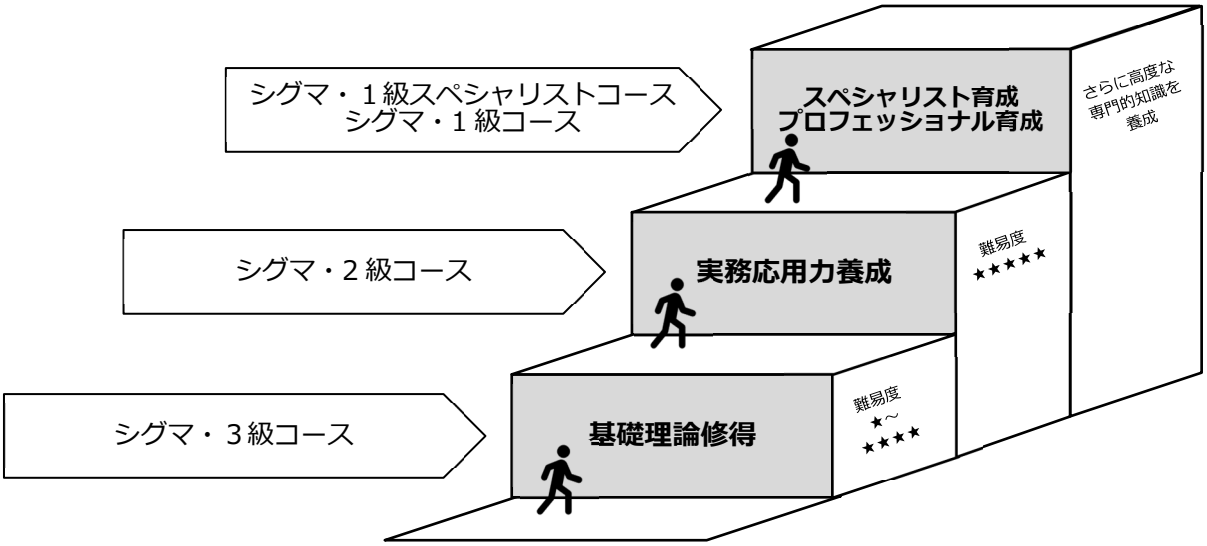
期	コース コード	コース名	受講料 (税込・円)	講義回数 (各回 3 時間)	申込 期限
144 期	144-FR	金融リスク管理コース	385,000	10 回＋試験	12/31 まで
	144-CF	コーポレート・ファイナンスコース	385,000	10 回＋試験	
	144-YC	イールドカーブ分析コース	385,000	10 回＋試験	
	144-SW	スワップコース	385,000	10 回＋試験	
	144-OP2	オプションコース（実務・応用編）	187,000	5 回＋試験	9/30 まで
143 期	143-CR	クレジットリスク分析コース	385,000	10 回＋試験	9/30 まで
	143-OP	オプションコ―ス	385,000	10 回＋試験	
通信制	Web-IM	「研究科」金利モデルコース	385,000	10 回＋試験	随時 受付
	Web-RV	「研究科」キャッシュフロー分析応用コース（粉飾の発見と企業再生）	259,600	5 回＋試験	
	Web-DS	デリバティブ実践短期習得コース	165,000	5 回＋試験	
	Web-PA	不動産価値評価実務コース	143,000	3 回＋試験	

目 次

第 144 期 専門科開講にあたって 2
今期の募集コース 2
シグマインベストメントスクールの教育体系 4
第 144 期 専門科の運営要領 5
運営概要 5
オンライン受講（e-Learning システム利用）について 5
お申込の手続き 5
企業派遣による受講手続きの流れ 6
授業の視聴について 6
e-Learning での受講方法 7
検定試験 7
第 144 期　専門科 各コースの詳細 8
金融リスク管理コース 8
コーポレート・ファイナンスコース 10
イールドカーブ分析コース 12
スワップコース 14
オプションコース（実務・応用編） 16
第 143 期　専門科 各コースの詳細 18
クレジットリスク分析コース 18
オプションコース 20
通信制　研究科・専門科 各コースの詳細 22
シグマ 1 級スペシャリストコース「研究科」金利モデルコース 22
シグマ 1 級スペシャリストコース「研究科」キャッシュフロー分析応用コース 24
デリバティブ実践短期習得コース 26
不動産価値評価実務コース 28
講師陣のご紹介（コース順） 30
授業風景 35
開講予定コースのご案内 36
お試し受講のご紹介 36
個人情報の取扱いについて 37
受託研修・講師派遣サービスのご案内 38

シグマインベストメントスクールの教育体系

シグマインベストメントスクールでは、初級～中級者向けの通信教育・ｅラーニング講座と、上級者向けの専門科・研究科をご提供しています。どのコースにおいても受講者のステップアップに対応するきめ細かい教育を行っています。



（★の数は相対的難易度を示しています）

★	内定者または入社 1～2 年目の方が受講する内容を想定しています。
★★	若手社員を対象にしていますが（入社 1～2 年目＋α）、★より高いレベルです。
★★★	数式を使用する内容が含まれており、一定の数学の基礎知識が必要です。
★★★★	★★の講座を履修し、十分理解できる方が対象です。数学の知識が必要です。
★★★★★	当スクール最高峰の「専門科・研究科」受講の入り口に立つ方が対象です。

<コース一覧>

（専門科・研究科） シグマ・１級スペシャリストコース、 シグマ・１級コース	（通信教育・ｅラーニング講座） シグマ・２級コース シグマ・３級コース
・「研究科」金利モデルコース ・「研究科」キャッシュフロー分析応用コース （粉飾の発見と企業再生） ・金融リスク管理コース ・コーポレート・ファイナンスコース ・イールドカーブ分析コース ・クレジットリスク分析コース ・スワップコース ・スワップコース（実務・応用編） ・オプションコース ・オプションコース（実務・応用編） ・プロジェクトファイナンス実践応用コース ・金融工学コース ・不動産価値評価実務コース ・デリバティブ実践短期習得コース	・Excel ファイル付き オプション業務Σ2 級コース ・Excel ファイル付き スワップ業務Σ2 級コース ・仕組み債の知識Σ2 級コース ・オプション業務Σ3 級コース ・スワップ業務Σ3 級コース ・仕組み債・外債超入門コース ・コーポレート・ファイナンス基礎コース ・証券化業務Σ3 級コース ・クレジット・デリバティブΣ３級コース ・金融数理Σ３級コース ・財務諸表と財務分析コース ・財務分析アドバンス「いい会社の見つけ方」コース ・企業会計と財務分析Σ3 級コース ・英文決算書の読み方基礎コース ・債券数理と投資戦略基礎コース ・債券・株式・ポートフォリオ入門コース ・英語で学ぶ金融基礎知識コース ・金融機関のリスク管理 基礎知識コース ・バリュー・アット・リスクの基礎コース ※上記のほかに多数のコースを設置しています。

「専門科・研究科」をはじめとして、各種公開講座、法人のお客様からの受託研修、通信教育、出版部門による書籍等により、多様な講義形式とオリジナル教材で聴講できる態勢を整えています。

※通信教育の内容については、別途ご用意している通信教育講座パンフレットをご覧ください。

第 144 期 専門科の運営要領

運営概要

1. 全コースにつき講義終了時に「シグマ業務検定１級試験」を実施します。
2. 不合格の場合は次期開催同一コースに編入して頂くことが可能です。追加費用は頂きませんが１回のみとさせていただきます。（諸事情により開講されない場合もございますので、あらかじめご了承ください。）
3. 講義期間中に適宜アンケート調査を実施し、以降の講義方針に反映させます。
4. 講義内容に関する質問を随時受け付けます。受講者の個別相談にも応じます。
5. 講師の都合や経済・社会情勢、諸制度変更等により、講義の日程が変更になる場合があります。また、開講期間中に、カリキュラムをより相応しい内容に更新する場合があります。予めご了承ください。

オンライン受講（e-Learning システム利用）について

全コース、全ての回をオンラインで受講できるようになりました。これにより、次のような利便性の向上が実現しています。

・パソコンに加え、スマートフォンでも視聴できるため、**時と場所を選ばず繰り返し視聴できます。**
講義映像は、最大２倍速でご覧いただくことが出来ます。
・エクセルファイルをダウンロードし、授業の動画を見ながら学習できます。
・**コース開講後でも途中参加することが出来ます。**
また、自分のペースで学習できるので、複数コースを受講する余裕も生まれます。
・原則として、対面での授業へのご参加はできなくなります。また、一部コースにおいて日時を指定したライブ配信のみとなる場合があります。ご了承ください。
・検定試験終了後も、受講期間内であれば復習することができます。
・法人ご担当者の皆様へ：当社の教務担当が視聴時間を把握できる仕組みになっているので、学習の進捗を把握できます。

お申込の手続き

・弊社ホームページ（https://www.sigmabase.co.jp）からお申込みいただくか、巻末の受講申込書に必要事項をご記入の上 FAX 送信をお願いします。
・入学金はいただいておりません。
・一定の人数に達しないコースは、開講日の１週間前までに中止の旨をご連絡しますので、予めご了承ください。

※開講日の１週間前で５名以上の参加が見込めることが開講決定の目安です。

※法人内部での受講承認や、派遣者（受講者）の調整等の理由により、受付終了日までに正式なお申込ができない場合、事前に人数をご連絡いただければ、予約者としてお席を確保いたします。

・法人申込の場合、ご希望コースの開催確定後、受講料の請求書をお送りしますので、所定の金額をお振込みください。
・コース開講中に退学される場合、または止むを得ない事情により受講が難しい場合は、ご相談ください。翌期への振り替えなど、個別に検討いたします。

企業派遣による受講手続きの流れ

【受講開始まで】

お申込み
HP より、または FAX で、事務担当者様または受講生ご本人様からお申込みください。

お申込書到着後、メールもしくはお電話で受領のご連絡をいたします。

ご請求書送付
申込書記載の御社事務担当者様宛に請求書を送付させていただきます。

請求書受領後、受講料をお振込みください。個人でお申込みの方は、原則開講日前日までにお振込みください。

事前配布資料送付
事前資料、受講案内等を御社事務担当者様または受講者ご本人様へ送付いたします。

開講日の約 1 週間前に送付いたします。日程をご確認の上、受講願います。

【受講～検定試験】

受講データの受領
弊社担当者より、受講案内をメール送信します。（※1）

受講開始
受講案内に記載の方法で受講を開始します。最終回まで同じ方法です。

検定試験
最終回の授業の後に実施する筆記試験を受けていただきます。

（※1）e-Learning で受講するためのデータ（例）

■コース名　：144 期 専門科「クレジットリスク分析コース」
■受講者名　：○○　○○　様
■受講番号　：sigma-AB-144FR-2026
■視聴期間　：2026/10/6 ～ 2026/3/31
■e ラーニング「ご利用方法」
https://www. aaaaaaaaaaaaaaaa.pdf

■e ラーニング ログイン情報
ID　　：sigma- AB-144FR-2026
Password：abcacbacb
専用 URL：https:// ddddddd

【検定試験後】

成績報告
弊社担当者より、派遣責任者様へ試験結果および成績報告に伺います。

認定証授与
合格者の方は、派遣責任者様より、試験解答と共に認定証をお受け取りください。

個人でお申込みの方、派遣責任者様の明記がない方につきましては、ご希望を確認の上、郵送または直接お伺いして認定証をお渡しいたします。

再受講手続き
不合格の場合は 1 期のみ、再受講が可能です。

再受講を希望される方はお手数ですが、その旨をご連絡ください。
追加料金はございません。

授業の視聴について

・授業の動画と講義資料は、**原則として講義後 3 日以内に視聴可能になります。**
・視聴の準備ができましたら、ご案内をメールでお届けします。
・原則として、ご受講は e-Learning システム上での視聴のみとなります。

e-Learning での受講方法

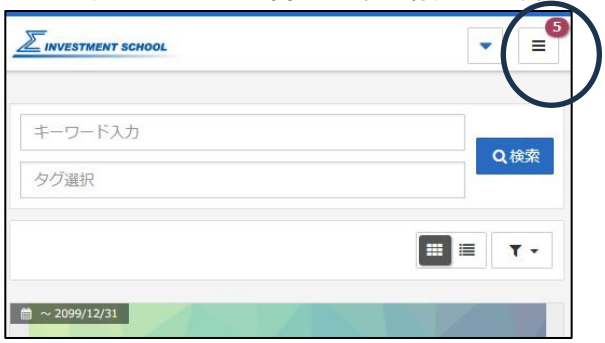
（１）ログイン画面



（２）受講しているコースを選択



（３）右上、もしくは右側に
インフォメーションの掲示がある場合はご確認ください。





（４）受講の進捗状況が表示されます。
コースを選択して進みます。

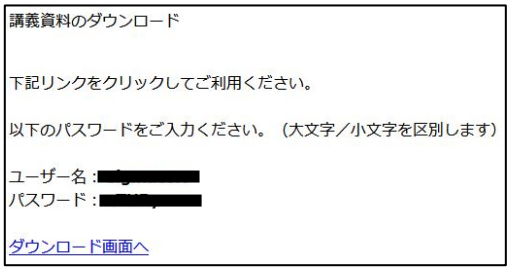


（５）単元を選択すると視聴を開始できます





（６）講義資料のＤＬの場合はリンクが表示されます



↑　このリンクをクリック（タップ）

検定試験

・最終回の授業の後に実施する筆記試験を受けていただきます。連続した 3 時間で実施してください。

・試験会場は ①郵送（勤務先もしくはご自宅） ②弊社会場 ③お客様の会場 が選べます。

・合格された方には認定証をお送りします。合格判定には出席点（講義の視聴時間）も加味します。

・後半の回で、予想問題をお渡しします。（一部コースを除く）

・詳しくは、弊社教務担当にお問い合わせください。

第 144 期　専門科 各コースの詳細

144-FR	【第 144 期】2026 年 10 月開講、12 月 31 日まで受付	
	金融リスク管理コース	

■本コースの特徴

- 金融リスク管理、リスク定量分析業務に必要な知識を、理論的な基礎知識から規制内容等の実務知識まで幅広く学べるコースです。
- カリキュラムを大幅に改訂しました。本コースで必要な数学の知識をコンパクトにまとめた予習用教材「金融リスク管理のための数学基礎」をご用意し、確率・統計の演習時間を最適化しています。
  また、基礎から実務までスムーズに学べるよう、カリキュラムの進行を改良しました。
- 前半では、リスク定量化の基本的な考え方、必要な確率・統計知識などを学び、さらに、各種リスク定量化のベースともなる分散共分散法（デルタ法）による VaR 計算について具体的に学びます。ご要望の多い「オペレーショナル・リスク管理」について大幅に拡充しています。
- 後半では、金融機関のリスク管理の最重要ポイントである信用リスク管理について、AI 審査モデルの知識を取り入れながら講義した後、モンテカルロ・シミュレーションや、時系列モデルによるリスクパラメーターの推定など、やや応用的な話題にも踏み込み、さらにバーゼル規制について近年の課題を中心に説明します。
- 実際に金融機関で幅広く行われている手法を前提に、経験豊富な専門家が、計算手法の本質的な意味・内容や実務上のポイント、課題などを丁寧に説明します。エクセル計算演習などをふんだんに取り入れ、初心者から実務を担当している方まで幅広い層に役立つプログラム内容になっています。

■受講対象者

- リスク管理業務担当者、監督者、金融システム開発者、あるいはこれらをめざすビジネスパーソンに最適のコースです。

■実施スケジュール

2026 年 10 月開講、6 ヶ月コース、全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
収録日	10/6（火）	10/20（火）	11/4（火）	11/10（火）	11/24（火）	12/10（木）	12/24（木）	1/14（木）	1/26（火）	2/16（火）	3/2（火）
担当講師	田渕 直也	大塚賢二		田渕 直也	大塚 賢二	尾木研三			田渕直也		

※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　33 時間（各回約 3 時間）　※受講期間　6 か月間　※受 講 料　385,000 円（税込）

■担当講師

シグマインベストメントスクール学長 シグマベイスキャピタル株式会社　シニアフェロー 株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング代表取締役社長	田渕　直也	第 1、4、9、10 回
シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー 株式会社ファルチザン代表 兼 プリンシパルコンサルタント 米国公認会計士（ニューハンプシャー州）、 日本証券アナリスト協会検定会員	大塚　賢二	第 2、3、5 回
専修大学商学部　教授 慶應義塾大学理工学部 非常勤講師	尾木　研三	第 6 回～第 8 回

■金融リスク管理コース／カリキュラム

第１回　金融リスク管理入門
1．金融リスク概観
2．リスク管理に必要な確率・統計の基礎知識
・期待値　・分散・標準偏差
3．リスク計量の基本的な考え方と課題

第２回　金融リスク管理で使える数学を演習で学ぶ(1)
1．対数変換
・対数変換とは　・データの対数変換処理例
2．テイラー展開
・テイラー展開とは
・金融リスク管理における応用例
3．分散共分散法による VaR 計算
・分散共分散行列　・相関行列　・正規分布の性質
・VaR を計算する

第３回　金融リスク管理で使える数学を演習で学ぶ(2)
1．基本的な回帰分析
・単回帰分析　・最小二乗法　・重回帰分析
2．ロジスティック回帰分析
・質的データと量的データ
・ロジスティック回帰分析の特徴
・オッズ、ロジット関数、ロジスティック関数
・重回帰分析の当てはめ　・最尤法

第４回　リスクファクターの特定と感応度の計算
1．ファクターモデルによる株式ポートフォリオのリスク測定
・ファクターモデル　・市場モデル
・マルチファクターモデル
2．デュレーションによる債券ポートフォリオのリスク測定
・デュレーションと BPV
・債券ポートフォリオの VaR 計算

第５回　オペレーショナル・リスク管理
1．オペレーショナル・リスク管理の基本事項
・サブリスクカテゴリー　・損失データの収集
2．統制自己評価
・統制自己評価とは　・基本的な手順
3．リスクの定量化
・バーゼル規制について
・リスク相当額の算出

第６回　信用リスク管理の概要
1．信用リスクとは
2．個別与信管理と与信ポートフォリオ管理定
3．近代的個別与信管理
（個別企業のリスク計測・コントロール・ヘッジ）
4．信用リスクモデル
（ホワイトボックス型 AI 審査モデル）のしくみ

第７回　信用リスクモデル（AI 審査モデル）の構築と運用
1．AI 審査モデルの構築手順
（変数選択、データクリーニング等）
2．信用格付の決定とホワイトボックス型 AI 審査モデルの精度検証
3．ブラックボックス型 AI 審査モデル
（ランダムフォレスト、CNN 等）の概要

第８回　与信ポートフォリオ管理
1．与信ポートフォリオ管理の概要
2．EL（予想損失）の計測とリスク対応管理
3．UL（予想外損失）の計測と自己資本管理
4．与信ポートフォリオのコントロール

第９回　市場リスク評価の課題と様々な計測手法
1．非線形リスクについて
・感応度法とフルバリュエーション法
2．ファットテールのリスク
・ヒストリカル法とモンテカルロ法
3．モンテカルロ法におけるモデルの選定とパラメータ推定
4．期待ショートフォール（ES）について

第 10 回　カウンターパーティ・クレジットリスクとバーゼル規制の動向
1．市場性信用リスクの測定
・デリバティブ CCR のエクスポージャー
・クレジットメトリクスによる格付遷移リスクの測定
・CVA リスク
2．バーゼル規制の概要と変遷
・バーゼル 2 からバーゼル 3 へ

第 11 回　金融リスク管理コース シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

■予習用教材　「金融リスク管理のための数学基礎」

本コースのご受講にあたって押さえておきたい数学の知識をコンパクトにまとめています。随時エクセル関数を紹介しながら解説します。講義資料と映像（およそ 4.5 時間）を使って予習していただくことができます。
以下の項目に不安のある方は、第２回講義の前にご確認ください。

1．指数・対数、自然対数とネイピア数　2．微分の基本、偏微分、合成関数　3．Σの演算、行列、逆行列 4．確率・統計の基本、平均と期待値、分散、

144-CF	【第 144 期】2026 年 10 月開講、12 月 31 日まで受付
	コーポレート・ファイナンスコース

■本コースの特徴

- グローバル・スタンダードなビジネス・リテラシーであるコーポレート・ファイナンスの主要テーマ（資本コスト経営、企業価値評価、投資意志決定、企業の財務戦略等）について、正しい理論を学び、実務に使えるようになることが目的です。英語の表現も多用します。
- 価値ベースのマネジメントを意識し、経営戦略と財務分析や企業価値評価の関係をとりあげます。**活用が進んでいる財務モデリングとの関連も解説します。**
- エクセルを用いた演習を多用し、財務予測モデルの構築や感度分析など、実践的な内容にします。
- バリュエーションと M&A のセクションでは、各種プレミアムの理論的な根拠や海外企業の評価に関する最新の動向を解説します。
- ケーススタディを用いて、受講者が主体的に参加できるインタラクティブな講義スタイルをとります。
- 後半では、M&A の手法、実務（デューデリの実際など）、**ベンチャー企業の評価、最新の会計と税務など、**企業財務に関し現在の金融市場で話題となっているテーマについて、第一線で活躍する講師が解説します。

■受講対象者

- 企業財務担当者、経営企画担当者、M&A 関連部署、資本市場関連部署、企業融資関連部署、証券アナリスト、公認会計士、コンサルタント並びに今後これらを目指すビジネスパーソンに適したコースです。

■実施スケジュール

2026 年 10 月開講、6 ヶ月コース、全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
収録日	10/7（水）	10/21（水）	11/11（水）	11/25（水）	12/8（火）	12/22（火）	1/6（水）	1/20（水）	2/3（水）	2/17（水）	3/3（水）
担当講師	畠田敬		砂川伸幸	畠田敬	砂川伸幸	畠田敬	砂川伸幸	内田芳樹		松浦総一	

※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　　33 時間（各回約 3 時間）
※受講期間　　6 か月間
※受 講 料　　385,000 円（税込）

■担当講師

神戸大学大学院経営学研究科　准教授	畠田　敬	第 1、2、4、6 回
京都大学経営管理大学院　教授 （株）船井総研ホールディングス　社外取締役	砂川　伸幸	第 3、5、7 回
MDP ビジネスアドバイザリー株式会社代表取締役 ニューヨーク州弁護士	内田　芳樹	第 8 回～第 9 回
立命館大学経営学部 准教授	松浦　総一	第 10 回

■コーポレート・ファイナンスコース／カリキュラム

第１回　コーポレート・ファイナンスの概要とＤＣＦ法
1．コーポレート・ファイナンスのテーマ
2．DCF 法（NPV 法と IRR 法）
3．投資決定
4．資産価格と資産価値

第２回　リスク・リターンと資本コスト
1．リスク・リターンの基本
2．ポートフォリオ理論
3．CAPM
4．加重資本コスト(WACC)

第３回　資本コストと企業経営
1．資本コストと資本利益率
2．資本コストとレバレッジ
3．資本コスト算出の実務
4．資本コストを低下させることは可能か
5．ケース：企業経営と資本コスト

第４回　財務評価モデルと事業価値評価
1．将来の FCF の計測
2．事業の資本コスト
3．財務計画モデル
4．事業価値の評価法
5．感度分析・シナリオ分析・損益分岐点分析

第５回　企業価値評価と競争優位
1．競争戦略と資本利益率
2．競争優位とファイナンスのポジション
3．財務モデルと企業価値評価
4．財務モデルと M&A シナジー効果の定量化

第６回　資本政策
1．資本構成：MM の無関連命題
2．資本構成：トレードオフ理論
3．資本構成：ペッキングオーダー理論
4．ペイアウト政策：配当と自社株買い
5．ペイアウト政策：MM の無関連命題
6．資本政策の実際

第７回　クロスボーダーとベンチャーのバリュエーション，オプションとコーポレート・ファイナンス
1．クロスボーダーのバリュエーション
2．ベンチャーのバリュエーション
3．ケース：経営計画と財務計画
4．ケース：MBO ファイナンス
5．非財務・未財務と財務の関係性の動向

第８回　M&A の全体像
1．M&A とは
2．M&A の歴史
3．M&A の手法
4．M&A をめぐるプレーヤー
5．M&A の具体的事例
6．M&A にかかわる法的リスクの変化

第９回　M&A の実務
1．M&A の具体的プロセス
2．デューディリジェンスの実務
3．企業価値評価
4．M&A を巡る契約書の作成
5．PMI の重要性
6．最近の注意事例
7．クロージング

第 10 回　新しい会計と税務計画
1．近年の会計・開示の動向
2．IFRS と USGAAP および日本基準の相違
3．会計と税務の関係と税務計画

第 11 回　コーポレート・ファイナンスコース シグマ１級検定試験

※第８回、９回のカリキュラムは、M&A 業務の動向を踏まえ、変更になる場合があります。

144-YC	【第 144 期】2026 年 10 月開講、12 月 31 日まで受付
	イールドカーブ分析コース

■本コースの特徴

- イールドカーブの構築・分析手法、リスク管理の方法等、イールドカーブ分析をめぐる広いテーマと、債券投資手法について学ぶことができるコースです。カリキュラム全体を刷新して 3 つのパートに再編しました。最後の「イールドカーブの活用」では新たなトピックを追加しています。
- イールドカーブの構築、リスク分析・管理手法の講義においては実際のデータを使い、金利補間手法など、実際に実務で必要な手法を詳細に解説しますので、非常に実践的かつ具体的に学ぶことができます。
- 第 1 回～第 9 回の講義では、毎回 Excel 演習を取り入れ、より実務的な観点からの理解を深めていただきます。もちろん使用する Excel ファイルはすべて持ち帰り、復習に使用できます。
- 第 10 回の講義では、実際の債券トレーディング戦略について最先端の実務に携わる講師が解説します。長年の経験に裏打ちされた実務的知見を学ぶことができます。

■受講対象者

- 債券投資、デリバティブ、ALM、リスク管理等の業務に携わる方で、イールドカーブ分析の知識を必要とする方
- 財務、経営企画等の業務に携わる方で、金利に関する深い知識を身に着けたい方
- これから想定される経済状況に対応した債券トレーディング戦略を身に着けたい方

■実施スケジュール

2026 年 10 月開講、6 ヶ月コース、全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
収録日	10/16（金）	10/30（金）	11/13（金）	11/27（金）	12/4（金）	12/18（金）	1/8（金）	1/22（金）	2/5（金）	2/19（金）	3/5（金）
担当講師	高橋豊治									徳勝 礼子	

※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　33 時間（各回約 3 時間）
※受講期間　6 か月間
※受 講 料　385,000 円（税込）

■担当講師

中央大学商学部教授	高橋　豊治	第 1 回～第 9 回
BNP パリバ証券株式会社 チーフ金利ストラテジスト、APAC	徳勝　礼子	第 10 回

■イールドカーブ分析コース／カリキュラム

Ⅰ．イールドカーブの基礎と構築方法

第１回 金利･債券についての知識とイールドカーブ分析の基礎数理

１．金利・債券市場の概観
２．イールドカーブ分析の基礎数理
Excel 演習：時間価値と各種金利
(デイカウント、複利計算、スポット･レート、フォワード･レート、パー･レート他)

第２回 イールドカーブ構築手法（１）
イールドカーブの重要性とイールドカーブ構築手法の基礎

１．イールドカーブの基礎
２．イールドカーブ構築手法の基礎
Excel 演習：イールドカーブ構築
(スポット・レート、フォワード・レート、パー・レートの推計)

第３回 イールドカーブ構築手法（２）
国債（JGB）流通市場でのイールドカーブ構築手法

１．国債（JGB）流通市場の特徴
２．銘柄のスクリーニングと Bootstrapping（逐次代入方式）による推計方法
３．銘柄の価格誤差を考慮したディスカウント・ファクターの推計方法
４．ディスカウント・ファンクション（discount function）を特定する推計方法
Excel 演習：国債流通市場でのディスカウント・ファクターの推計とイールドカーブ（JGB カーブ）構築

第４回 イールドカーブ構築手法（３）
金利スワップ市場でのイールドカーブ構築手法

１．金利スワップ取引の特徴
２．Bootstrapping によるディスカウント・ファクター推計とイールドカーブ構築
３．各種補間補手法（Interpolation）
４．スワップ市場で成立しているディスカウント・ファクターの推計とイールドカーブ構築方法
Excel 演習：金利スワップ市場でのディスカウント・ファクター推計とイールドカーブ（swap カーブ）構築

Ⅱ．イールドカーブとリスク管理

第５回 シングル・ファクターによる感応度指標
金利変化に伴う債券ポートフォリオ価値変化の分析

１．パフォーマンス・プロフィールと債券投資のリスク
２．1bp value
３．各種デュレーション概念
４．金利感応度とコンベクシティ
５．デュレーション、コンベクシティの利用法（バーベル型ポートフォリオとその限界）スポット・レートを使った金利感応度の表示
Excel 演習：シングル・ファクターによる感応度
（1bp Value、各種デュレーション、コンベクシティ他）

第６回 マルチ・ファクターによる感応度指標
イールドカーブ変動要因とヘッジ

１．スポット・レートを使った金利感応度の表示
２．デュレーション・ヘッジ技法とその限界
３．バリュー・アット・リスクにおけるアプローチ（Variance Covariance Matrix）
４．主成分分析（principal component analysis）の利用
Excel 演習：マルチ・ファクターによる金利感応度測定と利用例
Excel 演習：イールドカーブ変動要因の計測とヘッジへの活用

Ⅲ．イールドカーブの活用

第７回 イールドカーブを利用したキャッシュ・フロー評価

１．各種キャッシュ・フロー評価
２．いろいろなスプレッド
Excel 演習：イールドカーブを利用したキャッシュ・フロー評価

第８回 アセット・スワップ・スプレッドの計測と公社債流通市場の分析

１．アセット・スワップ・スプレッドの計測方法
２．アセット・スワップ・スプレッドを利用した公社債流通市場の分析
Excel 演習：アセット・スワップ・スプレッドの計測方法

第９回 イールドカーブに関するまとめと利用方法の確認（全体のまとめと実データに基づいた問題演習）

１．国債流通市場でのイールドカーブ構築手法の整理
２．金利スワップ市場でのイールドカーブ構築手法の整理
３．イールドカーブを利用したキャッシュ・フロー評価
４．イールドカーブのもとでのリスク管理
Excel 演習：イールドカーブ構築と活用 ほか

第 10 回 イールドカーブ分析に基づく債券トレーディング

１．イールド・カーブ・トレードの基本
２．イールド・カーブ・ダイナミクスの基本と応用
３．伝統的なイールド・カーブ・ダイナミクスからの乖離と具体例
４．スワップ・スプレッド
５．クロス・カレンシー（Xccy）・ベイシス・スワップ市場、金利よりも金利差の世界
６．バランスシート回りについての諸々
７．2020 年以降のイールドカーブにまつわる諸トピック

第 11 回 イールドカーブ分析コース
シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

144-SW	【第 144 期】2026 年 10 月開講、12 月 31 日まで受付
	スワップコース

■本コースの特徴

- **新講師をお招きし、カリキュラムを全面的に改訂します。**
- 前半「スワップ・プライシングの理論と実践」では、スワップの基礎である債券数理と評価の基本理論を学びます。続いてスワップの評価実務を学び、基礎知識をしっかりと習得します。
- 後半「スワップ実務・応用編」では、スワップ取引の形態を幅広く取り上げ、**実践的なオプションの評価方法を学びます**。続いて、**取引の市場リスク、信用リスク、モデルリスクまで**、体系立てた解説を行います。これにより、エキスパート養成にも資する構成になっています。
- 個別の解説項目には、**リスクフリーレート（RFR）ディスカウントを核としたマルチカーブ評価、XVA、さらにバーゼル「健全な価値評価に関するガイダンス（PVG）」を加え**、実務の新しい動向にも対応しています。
- 実際の商品例、ケーススタディ、パソコン演習を取り入れた実践的なカリキュラムです。パソコン演習では、実際の金利データを用いて、すぐに現場で使える手法を学ぶことができます。

■受講対象者

- リスク管理担当者、融資業務担当者、企業財務担当者、スワップディーラー、ファンドマネージャー、金融商品担当者、金融システム担当者、金融理論研究者、公認会計士、弁護士ならびに今後これらを目指すビジネスパーソンに適したコースです。

■実施スケジュール

2026 年 10 月開講、6 ヶ月コース、全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
収録日	10/15（木）	10/29（木）	11/12（木）	11/26（木）	12/3（木）	12/18（金）	1/8（金）	1/22（金）	2/5（金）	2/19（金）	3/4（木）
担当講師	田渕　直也					中村　尚介					

※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　　33 時間（各回約 3 時間）
※受講期間　　6 か月間
※受 講 料　　385,000 円（税込）

■担当講師

シグマインベストメントスクール学長 シグマベイスキャピタル株式会社　シニアフェロー 株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング 代表取締役社長	田渕　直也	第 1 回～第 5 回
みずほ証券株式会社　リスク統括部　ディレクター	中村　尚介	第 6 回～第 10 回

■スワップコース／カリキュラム

Ⅰ．スワップ・プライシングの理論と実践

第１回　デリバティブの全体像とスワップの基礎知識

1．デリバティブ市場の全体像
2．スワップ取引の種類や概要：
その経済効果や利用方法など
3．変動金利の指標について：
RFR と後決め複利の計算方法
4．その他スワップ関連取引：
FRA/金利先物/エクイティスワップ/コモディティスワップ

第２回　金融数理の基礎としての債券数理

1．金利計算の基礎：複利計算／連続複利など
2．債券のキャッシュフローと利回り
3．スポットレート（ゼロレート）とフォワードレート
4．理論価格の計算：現在価値（PV）とその計算方法

第３回　スワップ・プライシングの基礎

1．ブートストラップによるディスカウントファクターの計算
2．スワップの評価にはどんな金利を使うべきか
3．担保付取引を前提としたときの割引金利：
マルチ・ディスカウントカーブ
4．スワップの評価：スワップ時価評価額（MTM）の意味とその変動要因

第４回　実践的なスワップ・プライシング

1．未確定の変動金利キャッシュフローの評価
2．無裁定理論とその応用
3．マルチ・プロジェクションカーブの構築
4．新規スワップのプライシング：
アモチ付スワップ/フォワードスワップなど
5．通貨スワップ評価の基本的な考え方

第５回　通貨スワップのプライシング/
ストラクチャリング/補間技法

1．通貨スワップのプライシング：
付通貨スワップとクーポンスワップの違い
2．通貨スワップと為替フォワードの関係
3．ヘッジ付外債投資について
4．スワップを利用したストラクチャリングの基本的考え方
5．補間計算の目的とその計算方法：
線形補間/スプライン補間

Ⅱ．スワップ実務・応用編

第６回　その他のスワップ取引

1．通貨ベーススワップ
2．コンスタント・マチュリティ・スワップ（CMS）
3．その他のスワップ取引：
インフレスワップ/アセットスワップ
4．クレジットデフォルトスワップ（CDS）/
トータルリターンスワップ（TRS）/
クレジットリンク債（CLN）

第７回　オプションのプライシングモデル

1．オプション取引の概要
2．金利オプション：キャップ・フロアー/スワップション
3．ブラック・モデルとバシュリエ・モデル
4．ボラティリティ・スマイル・モデル：
ディスプレイスト・ブラック・ショールズ・モデルと
SABR モデル
5．数値計算方法：モンテカルロ・シミュレーション/
最小二乗モンテカルロ・シミュレーション等

第８回　スワップ取引の市場リスク管理

1．金利感応度の計算：デュレーションとベーシスポイントバリュー（BPV）
2．オプションの感応度（グリークス）と
イールドカーブの変動リスク
3．バリュー・アット・リスク（VaR）：
ヒストリカル法/リスク理論損益/バックテスト
4．FRTB-SA とバーゼル 2.5
5．期待ショートフォール（ES）

第９回　スワップ取引の信用リスク管理

1．中央清算機関
2．スワップ取引の担保：ネッティングセット/
マージン・ピリオド・オブ・リスク（MPoR）/
変動証拠金/当初証拠金と SIMM/ヘアカット
3．担保通貨の考慮
4．カウンターパーティ・クレジット・リスク：
EPE/PFE/誤方向リスク
5．信用 VaR：デフォルト相関（コピュラ相関）と
線形相関/コレスキー分解

第 10 回　スワップ取引の時価評価調整

1．デリバティブ取引に係る各種評価調整（XVA）の代表格：CVA と FVA
2．CVA リスク
3．バーゼルの健全な価値評価に関するガイダンス（PVG）と PVA
4．モデルリスク管理まとめ
5．まとめ

第 11 回　スワップコース シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

144-OP2	【第 144 期】2026 年 8 月開講、9 月 30 日まで受付	
	オプションコース（実務・応用編）	

■本コースの特徴

・ 第 143 期「オプションコース」の後半（第 6 回～第 10 回）の授業と検定試験を受けていただくコースです。

・ 「実務・応用編」では、まず BS モデルの実装法に関し、統計処理や数値計算を得意とする Python を用いた解説を行います。続いて、局所ボラティリティ分析および拡張モデルへの理解を深めるとともに、エキゾチックオプションを利用したリスク管理を学びます。最終回では、恐怖指数や機械学習によるデリバティブのヘッジ戦略など、マーケットの新しい潮流について造詣を深めていただきます。

・ 理解を促すため、実データを使ったケーススタディやパソコン演習も行います。

■受講対象者

・ リスク管理担当者、ディーラー、金融商品開発担当者、ファンド・マネージャー、企画財務担当者、コンピュータ・システム設計者、金融理論研究者、公認会計士並びに今後これらを目指すビジネスパーソンに適したコースです。

・ オプションの理論面（オプションコースの第 1 回～第 5 回講義内容）に関しては一定以上の知識を既にお持ちの方で、実務・応用編の内容についてのみ受講を希望される方。

■実施スケジュール

2026 年 8 月開講、3 ヶ月コース、全 5 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	6	7	8	9	10	試験
収録日	8/27（木）	9/10（木）	10/1（木）	10/15（木）	10/29（木）	11/19（木）
担当講師	平山裕康					

※第 143 期「オプションコース」の第 1 回から受講されている方と第 6 回目から一緒の受講となります。
※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　18 時間（各回約 3 時間）
※受講期間　3 か月間
※受 講 料　187,000 円（税込）

■担当講師

一般社団法人日本 CFO 協会 研究会員	平山　裕康	第 6 回～第 10 回

■オプションコース（実務・応用編）／カリキュラム

Ⅱ．実務・応用編

第６回　Excel VBA および Python を用いた BS モデルの実装

1．エクセル VBA/Python の基本
2．BS オプション価格/グリークス計算の実装例
3．モンテカルロ・シミュレーションによるオプション価格計算
4．ツリーモデルの実装
5．グリークスによるオプションポートフォリオのリスク管理

第７回　ボラティリティ分析

1．ヒストリカルボラティリティの算出
2．GARCH モデルによるボラティリティ推定
3．オプション価格から BS インプライドボラティリティの算出
4．ボラティリティスマイル・期間構造

第８回　BS モデルの限界と拡張

1．ボラティリティスマイルと BS モデル
2．DVF モデル
3．Vanna-Volga 法
4．局所ボラティリティモデル
5．確率ボラティリティモデル
6．ボラティリティモデルのパラメータ推定

第９回　エキゾチックオプション

1．バリアオプション
2．デジタルオプション
3．バリアオプションの価格評価とリスク管理
4．エキゾチックオプションを利用した投資戦略・商品の紹介

第 10 回　オプションマーケットの新潮流

1．デリバティブ取引規制
2．VIX、0DTE（ゼロ・デー・トゥー・エクスピレーション）
3．Deep hedging
4．Rough Volatility

第 11 回　オプションコース　シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第 143 期　専門科 各コースの詳細

143-CR	【第 143 期】2026 年 7 月開講、9 月 30 日まで受付	
	クレジットリスク分析コース	

■本コースの特徴

- クレジットリスク管理の主要なテーマを幅広く、実践的に学ぶことができるコースです。デフォルト確率・デフォルト相関の推定といったクレジットリスク分析の中心テーマから、バーゼル規制の内容やカウンターパーティリスクまで、クレジットリスク分析に関する実務的なポイントをほぼ網羅した内容となっています。
- クレジットリスクの定量的な分析は、一般的に数理的に難易度の高い議論が多く、書籍等での独習は容易ではありません。本コースは、実務経験豊富な講師陣が、理論の実務的意義が明確に理解できるよう配慮した講義を行います。
- エクセル演習などを多用し、難しい数理的な内容も、実践的にわかりやすく学ぶことができると同時に、実務への応用に結び付く知識が修得できます。
- ソブリンリスクやカウンターパーティリスクなど、近年何かと話題になるテーマについても、実務で長く分析に携わってきた講師が問題の本質をわかりやすく説明します。

■受講対象者

- 金融機関でリスク管理業務、デリバティブリスク関係業務に携わる方
- リスク管理系のシステム構築に携わるシステム会社の方
- 金融機関の監査等に関わる方
- 金融リスク管理、リスク分析関係の知識を身につけたい方

■実施スケジュール

2026 年 7 月開講、6 ヶ月コース、全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
収録日	7/13（月）	7/27（月）	8/3（月）	8/17（月）	9/4（金）	9/18（金）	9/25（金）	10/9（金）	10/23（金）	11/6（金）	11/20（金）
担当講師	小林武				菅野正泰				小林武	富安弘毅	

※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　　33 時間（各回約 3 時間）
※受講期間　　6 か月間
※受 講 料　　385,000 円（税込）

■担当講師

名古屋商科大学ビジネススクール　教授 博士（経営学） シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー	小林　武	第 1 回～第 4 回、 第 9 回
日本大学商学部教授　博士（経済学） シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー	菅野　正泰	第 5 回～第 8 回
LSEG（ロンドン証券取引所グループ） ポスト・トレード 日本責任者 および ポスト・トレード・ソリューション アジア太平洋地域責任者	富安　弘毅	第 10 回

■クレジットリスク分析コース／カリキュラム

第１回　クレジット分析のフレームワーク
1．金融リスクにおけるクレジットリスクの特徴
2．金融機関の業務とクレジットリスク
3．クレジットリスク関連商品
（社債、ローン、CDS、証券化商品）のリスク特性
4．クレジットリスクモデリングに必要な諸概念の説明
（PD、LGD、EAD、生存確率、ハザードレートなど）

第２回　信用格付け
1．格付けとは
2．事業債格付け手法
3．内部格付け手法
4．格付け推移行列
5．内部格付け手法の実際

第３回　信用リスク計測モデル：統計モデル(１)
1．デフォルト判別分析
2．デフォルト率推計モデル
3．統計モデルの検証
4．Excel 演習

第４回　信用リスク計測モデル：統計モデル(２)
1．統計モデルの活用方法 (内部格付・貸出金利設定)
2．デフォルト時損失率（LGD)、デフォルト時残高（EAD）の計測方法
3．マクロ経済変数を活用した社債スプレッドの計量モデル
4．Excel 演習

第５回　信用リスク計測モデル：構造モデルと誘導モデル
1．デフォルト確率推定モデルの分類
2．シングルネームのデフォルト確率推定モデル①
誘導モデル
3．シングルネームのデフォルト確率推定モデル②
構造モデル
4．デフォルト確率の推定例（期間構造等）

第６回　デフォルト相関の分析
1．信用リスク相関を把握するための準備
2．順位相関による信用格付の分析
3．線形相関によるデフォルト相関分析
4．コピュラによる信用リスク計量化

第７回　ポートフォリオの信用リスク管理
1．ポートフォリオリスク尺度
2．信用 VaR モデルの概要
3．企業価値変動モデル
4．シミュレーション事例

第８回　バーゼル規制と信用リスク計量化
1．バーゼル規制のフレームワーク
2．規制資本算定モデル（第１の柱）
3．信用集中リスク管理（第２の柱）
4．事業法人の信用スコアリングと指標による検証

第９回　ソブリンリスク管理
1．ソブリンリスクとは
2．ソブリンリスクの評価方法
・ソブリン格付け
・金融市場におけるソブリンリスクの評価
（ソブリン CDS・ソブリン債スプレッド・構造モデル）
3．ソブリンリスクに関する最近の話題
・ソブリンシーリング
・バーゼル規制におけるソブリンリスクの取り扱い
4．業態別ソブリンリスク管理手法
5．ソブリンリスクの企業価値評価への適用
6．マクロ経済指標を用いたソブリンリスクモニタリング事例
7．Excel 演習

第 10 回　カウンターパーティリスク
1．カウンターパーティリスクとは
2．CVA の基礎
3．CVA 導入の効果
4．FVA 等その他の評価調整
5．規制が変えるリスク管理

第 11 回　クレジットリスク分析コース
シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

143-OP	【第 143 期】2026 年 7 月開講、9 月 30 日まで受付
	オプションコース

■本コースの特徴

- 前半「基礎理論編」では、オプション理論の基本としてブラックショールズ式をしっかりと学び、その後実務的な視点を取り入れたモデルの拡張やリスク管理上重要な Greeks を学びます。
- 後半「実務・応用編」では、まず BS モデルの実装法に関し、統計処理や数値計算を得意とする Python を用いた解説を行います。続いて、局所ボラティリティ分析および拡張モデルへの理解を深めるとともに、エキゾチックオプションを利用したリスク管理を学びます。最終回では、恐怖指数や機械学習によるデリバティブのヘッジ戦略など、マーケットの新しい潮流について造詣を深めていただきます。
- 本コースは金利モデルと分けることで、10 日間で株式や通貨オプションおよびエキゾチックオプションについてのリスク管理や理論をかなり実践的に学べるコースにしました。ミドル部門向けの価格理論やリスク管理のみでなく、実際にトレーディングとリスク管理を並行して行っているフロントの方や、仕組債などのオプション内包型金融商品に関わる方にも有効な、実務的解説を充実させています。
- 理解を促すため、実データを使ったケーススタディやパソコン演習も行います。

■受講対象者

- リスク管理担当者、ディーラー、金融商品開発担当者、ファンド・マネージャー、企画財務担当者、コンピュータ・システム設計者、金融理論研究者、公認会計士並びに今後これらを目指すビジネスパーソンに適したコースです。

■実施スケジュール

2026 年 7 月開講、6 ヶ月コース、全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
収録日	7/8（水）	7/22（水）	7/29（水）	8/5（水）	8/19（水）	8/27（木）	9/10（木）	10/1（木）	10/15（木）	10/29（木）	11/19（木）
担当講師	猪田義浩					平山裕康					

※都合により、収録日が変更となる場合があります。予めご了承ください。
※講義時間　33 時間（各回約 3 時間）
※受講期間　6 か月間
※受 講 料　385,000 円（税込）

■担当講師

シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー	猪田　義浩	第 1 回～第 5 回
一般社団法人日本 CFO 協会 研究会員	平山　裕康	第 6 回～第 10 回

■オプションコース／カリキュラム

Ⅰ．基礎理論編

第１回　オプションの基本的な考え方、制約条件と裁定
1．オプションと Black=Scholes モデルについて
2．デリバティブ評価の基本：アービトラージと複製
3．裁定条件によるオプションの価格範囲
4．オプションという商品の特性：
　行使価格と原資産に対する凸性

第２回　数学的な補足、ブラウン運動の導入
1．期待値と分散について
2．正規分布と対数正規分布
3．中心極限定理
4．ブラウン運動の導入と確率分布
5．原資産の推移モデル

第３回　原資産の推移モデルと二項モデル、リスク中立確率の導入
1．原資産の従う確率過程と実際の市場での変動
2．確率微分方程式による表現とその意味
3．伊藤の公式
4．1 期間 2 項モデルにみるオプション評価の基本
5．リスク中立確率の導入

第４回　Black=Scholes 式
1．2 項モデル演習
2．測度変換と Risk-neutral Pricing
3．Risk-neutral Pricing 手法
（Black=Scholes 式の導出）
・解析解の導出
・モンテカルロ・シミュレーション
4．Black=Scholes 式と Binary オプション

第５回　通貨オプションのモデル、Black76、Greeks（リスク管理）
1．通貨オプション：ガーマンコヘーゲン式の紹介
2．フォワードを原資産とした Black=Scholes 式
（Black76）
3．基本的な Greeks とリスクの把握、ダイナミックヘッジ
4．（インプライド）ボラティリティについて

Ⅱ．実務・応用編

第６回　Excel VBA および Python を用いた BS モデルの実装
1．エクセル VBA/Python の基本
2．BS オプション価格/グリークス計算の実装例
3．モンテカルロ・シミュレーションによるオプション価格計算
4．ツリーモデルの実装
5．グリークスによるオプションポートフォリオのリスク管理

第７回　ボラティリティ分析
1．ヒストリカルボラティリティの算出
2．GARCH モデルによるボラティリティ推定
3．オプション価格から BS インプライドボラティリティの算出
4．ボラティリティスマイル・期間構造

第８回　BS モデルの限界と拡張
1．ボラティリティスマイルと BS モデル
2．DVF モデル
3．Vanna-Volga 法
4．局所ボラティリティモデル
5．確率ボラティリティモデル
6．ボラティリティモデルのパラメータ推定

第９回　エキゾチックオプション
1．バリアオプション
2．デジタルオプション
3．バリアオプションの価格評価とリスク管理
4．エキゾチックオプションを利用した投資戦略・商品の紹介

第 10 回　オプションマーケットの新潮流
1．デリバティブ取引規制
2．VIX、0DTE（ゼロ・デー・トゥー・エクスピレーション）
3．Deep hedging
4．Rough Volatility

第 11 回　オプションコース　シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■予習用教材　「オプション学習のための数学基礎」

本コースのご受講にあたって知っておきたい数学の知識をコンパクトにまとめています（およそ 2 時間 50 分）。
基本テキストと講義資料、演習用エクセルを使って予習することができます。

1．極限値と微分
・極限値の概念とその表現　・微分　・導関数の求求め方　・金融への応用例
・テーラー展開とデュレーション、コンベクシティの関係　・偏微分の概念
2．積分と確率と統計のための補足
・積分の意味と計算　・連続型の確率変数と積分　・やや応用的な話題

通信制　研究科・専門科 各コースの詳細

Web-IM	【通信制スクール】いつでも受講可能、申し込み後すぐにスタート **シグマ１級スペシャリストコース** **「研究科」金利モデルコース**	

■本コースの特徴

- デリバティブ価格理論の本質である、マルチンゲール・アプローチに基づき、主要な金利モデルおよびBlack-Scholes 等の重要なデリバティブのモデルについて習得できるコースです。
- 特に金利モデルについては、実務・理論の両面に精通した講師が、一般書籍や他のセミナーには類を見ない親切かつ丁寧な説明を行い、実務的な観点からの深い知識を習得することができます。
- 前半でデリバティブ価格計算ロジックの基礎を成すマルチンゲール・アプローチと必要な確率統計理論についての説明を行い、デリバティブ・プライシング全般についても体系的な知識を学ぶことができます。
- 理論の習得だけで終わることがないよう、随時実務的な観点からも説明を加え、実務上のインプリメンテーションを示しながら、効率的な計算方法などを指導します。

■受講対象者

- デリバティブ業務、リスク管理業務、金融商品開発業務等の担当者の方で、高度なデリバティブの知識を必要とされている方
- デリバティブ評価システム等の金融システム開発担当の方
- 金融理論研究者の方、高度なデリバティブ理論の習得を目指す方
- 弊社専門科オプションコース、金融工学コースなどを履修された方

■実施スケジュール

全 10 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	試験
担当講師	村上　秀記										

※受講期間　　6 か月間
※講義時間　　33 時間（各回約 3 時間）
※受 講 料　　385,000 円（税込）

■担当講師

経済学博士	村上　秀記	第 1 回～第 10 回

■「研究科」金利モデルコース／カリキュラム

第１回　マルチンゲール・アプローチの概要

1．オプションプライシング理論の歴史
2．マルチンゲール
3．無裁定の定義
4．資産価格の基本定理
5．マルチンゲール・アプローチの概要
6．二項モデルとマルチンゲール・アプローチ

第２回　株価のモデリングとブラウン運動

1．株価のモデリング
2．中心極限定理
3．ブラウン運動の定義色々
4．ブラウン運動の性質
5．ブラウン運動の２次変分
6．ブラウン運動から作られるマルチンゲール

第３回　伊藤の公式

1．伊藤の公式
2．ブラウン運動の二次変分
3．二次元の伊藤の公式
4．積と商の公式
5．Black－Scholes の PDE
6．確率積分

第４回　マルチンゲール・アプローチによる Black－Scholes 式の導出

1．ギルザノフの定理
2．預金をニューメレールとした場合
3．株価をニューメレールとした場合
4．ニューメレール・ペアの変換
5．Black－Scholes 式の最も効率的な導出

第５回　フォワードメジャーとその応用

1．フォワードメジャーの定義とその意味
2．フォワードメジャーへの変換
3．フォワードメジャーの応用例：変動金利の現在価値
4．フォワードと先物
5．フォワードを原資産とするオプション(Black76)
6．ユー口円先物の Convexity Adjustment

第６回　金利の定義 ＆ スワップ、スワップション

1．色々な金利の数学的定義とその関係、表記法
2．二次元表面を用いた図示
3．Money Market Account、Short Rate、Forward Rate、Zero (Coupon) Yield/Rate
4．金利スワップ
5．Forward Rate と Forward Swap Rate
6．変動金利の評価と、金利スワップの評価
7．Swaption のプライシング

第７回　金利モデルの全体像、数学準備追補

1．金利モデルの全体像
2．行列のスペクトル分解
3．多次元、多資産モデルの表現方法
4．確率積分の定義と性質
5．フビニの定理

第８回　Heath-Jarrow-Morton Model

1．Framework としての HJM モデル
2．債券価格のダイナミクスの導出
3．無裁定条件と、“HJM の Main Result”の導出
4．Fleasaker-Hughston による HJM モデル
5．他の金利モデルとの関係

第９回　Vasicek / Hull & White モデル

1．教科書的な債券価格の解析解の導出
2．より実戦的な債券価格の解析解
3．1 次元 Gaussian Markov Functional Model としての Hull-White モデル（LGM モデル）
4．金利キャップ・フロアー、スワップションの解析解の導出
5．Semi-Analytical Lattice による高速な計算
6．パラメータの決定：グローバルとローカルキャリブレーション

第 10 回　Forward Market Model

1．Brace, Gatarak, Musiela のオリジナルなアプローチ
2．Jamshidian による Forward Market Model
3．内積、ベクトル、総和、行列などを用いた色々な表現
4．ドリフト項の導出
5．ドリフト項の近似とシミュレーション

第 11 回　「研究科」金利モデルコース シグマ１級スペシャリスト検定試験

※テキスト等の持ち込み不可。
　ただし、事前に問題集を配布し、その中から出題。

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Web-RV	【通信制スクール】いつでも受講可能、申し込み後すぐにスタート **シグマ１級スペシャリストコース** **「研究科」キャッシュフロー分析応用コース（粉飾の発見と企業再生）**	

■本コースの特徴　**企業審査の最高峰を極める。審査業界第一人者によるプロ育成コース**

企業の実態はキャッシュフローを見ればすべて理解できます。 企業審査は「キャッシュフロー分析」と「経営者評価」の２点が中心となります。 審査業務の中でも最も高度な「粉飾の発見」と「企業再生」についてはキャッシュフロー分析が最大の武器となります。

質・量ともかなりハードな内容ですが、最後まで受講し修了テストまで取り組めば、努力が必ず報われることをお約束します。

- まず、キャッシュフロー分析の手法を学び、具体的事例を使用しながらキャッシュフロー分析をマスターします。
- その後、審査業務の中でも最も高度な粉飾の発見と企業再生について学びます。
- 粉飾決算については、資金運用表を含むキャッシュフロー計算書と B/S の回転期間を利用して、高確率で粉飾を発見する方法を学びます。
- 企業再生や M&A においては、企業収益の根幹となる現金利益（償却前利益）を事業セグメント毎に把握し、その存立の基盤を判断することからスタートします。

■受講対象者

- 審査業務を極めたい方々、本当のプロフェッショナルを目指す方々の参加を希望します。
- M&A や事業承継の専門家、有望企業の発掘を目指すファンド・マネージャー、金融機関や商社の審査業務の中核人材、顧客に本当の財務アドバイスができる公認会計士や税理士などの方
- 証券会社で新規上場企業を見つけ出す担当者
- 弊社ｅラーニング講座「キャッシュフロー分析を中心とした 財務諸表と財務分析コース」「財務分析アドバンス『いい会社の見つけ方』コース」をマスターされた方、もしくは同等の知識・経験をお持ちの方

■実施スケジュール

全５回講義＋検定試験（各３時間）

回	1	2	3	4	5	試験
担当講師	久保田政純					

※受講期間　　６か月間
※講義時間　　18 時間（各回約３時間）
※受 講 料　　259,600 円（税込）

■担当講師

株式会社カクタス インベスト 代表取締役 中小企業コンサルタント シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー	久保田 政純	第１回～第５回

■「研究科」キャッシュフロー分析応用コース（粉飾の発見と企業再生）／カリキュラム

第１回　キャッシュフロー分析概要

・粉飾の発見もキャッシュフロー分析が基本となる
・キャッシュフロー分析を中心とした財務分析を学ぶ
・演習問題（事前課題）
  - エレカーの B/S 作成と資金運用表
  - 資金運用表の分析（キャッシュフロー計算書に変換）・サンプルケースの紹介
・事例研究
  - テスラのキャッシュフロー分析 / 三陽商会の経営改善策 / ノヴァの倒産原因 / 関西精密機械の財務分析

第２回　粉飾の研究

・粉飾の見分け方
・事例研究
  - 江守グループ / プロルート丸光 / ディー・エル・イー / 日本ボドー / 関西精密機械

第３回　不動産業界の見方

・不動産業界と不動産各社概要
・不動産業界でキーとなる財務指標
・事例研究
  - アーバンコーポレーション / 三栄建築設計（比較企業 タマホーム） / ダイトー / 常磐興産

第４回　会計制度の課題

・IFRS と連結決算の問題点
・事業セグメントと ROA（総資産営業利益率）
・事例研究
  - ソフトバンクグループ（SBG） / 曙ブレーキ（比較企業 村上開明堂） / 地場名門多角化企業

第５回　企業再生

・企業再生の考え方
・収支予想と財務三表の関係
・固定費と変動費による収支予想
・事例研究
  - リンガーハット（比較企業 ハイデイ日高） / パリミキ（比較企業 ジンズ） / 佐藤工業（比較企業 西松建設）
  - 関西精密機械

第６回　「研究科」キャッシュフロー分析応用コース（粉飾の発見と企業再生）
シグマ１級スペシャリスト検定試験

※受講開始から一定期間経過後、弊社より試験問題および関連資料をお送りします。
定められた期間内にご回答いただき、弊社までご返送ください。
採点してお返しするとともに、合格された方には「修了証」をお送りします。

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Web-DS	【通信制スクール】いつでも受講可能、申し込み後すぐにスタート	
	デリバティブ実践短期習得コース	

■本コースの特徴

- 本来であれば時間をかけて習得すべきデリバティブ中級レベルの知識を、比較的短期間でポイントを抑えながら学び、さらに実践・実務に活かすべく底上げをするカリキュラム構成となっております。
- デリバティブで押さえておきたいスワップ・オプションの理論を、実務経験豊富な講師により、Excel などを活用し演習を組み込むことで効率よく習得することができます。
- 実際の商品例、ケーススタディ、パソコン演習を取り入れた実践的教育を行ないます。パソコン演習では、実際の金利データを用いて、すぐに現場で使える手法を学ぶことができます。
  データをダウンロードすることにより、あなたのパソコンで演習が出来ます。

■受講対象者

- リスク管理担当者、融資業務担当者、企業財務担当者、スワップディーラー、金融商品担当者、金融システム担当の方
- 金融における業務経験の浅い方で、債券数理やデリバティブなどについて基礎知識をお持ちの方
- その他、投資理論やデリバティブ理論の基礎を確立したいと考えている方

■本コースをご受講いただくための前提知識

- 本コースのご受講には、数学の知識および学習経験が必要です。具体的には以下の内容を学習したことがある方を対象にしています。

※　予習用教材「オプション学習のための数学基礎」をご提供しています。講義と合わせてご利用ください。

・連立方程式
・微分・積分の初歩的な知識
・自然対数、指数の計算
・確率と期待値の考え方
・正規分布の性質、中心極限定理
・微分方程式

■実施スケジュール

全 5 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	4	5	試験
担当講師	田渕直也		猪田義浩			

※受講期間　　6 か月間
※講義時間　　18 時間（各回約 3 時間）
※受 講 料　　165,000 円（税込）

■担当講師

シグマインベストメントスクール学長 シグマベイスキャピタル株式会社　シニアフェロー 株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング 代表取締役社長	田渕　直也	第 1 回～第 2 回
シグマベイスキャピタル株式会社フェロー	猪田　義浩	第 3 回～第 5 回

■デリバティブ実践短期習得コース／カリキュラム

第１回　スワップの概要と時価評価

1．スワップの時価評価の基本
- ・デリバティブとは何か
- ・金利スワップと通貨スワップ
- ・変動金利の指標～LIBOR から TONA、TIBOR へ
- ・金融商品の理論価格
  ～スワップ時価評価の基本的な考え方
- ・現在価値とディスカウントファクター
- ・ブートストラップ法によるディスカウント
  ファクターの算出

2．スワップ実務における現在価値の算出
- ・割引金利に何を使うのか
- ・担保付取引におけるディスカウントカーブの生成
- ・スワップ時価評価額の意味

3．変動金利キャッシュフローの評価
- ・未確定キャッシュフローの現在価値をどう計算
  するか
- ・フォワードレートを使用した評価方法

4．異種通貨キャッシュフローの評価
- ・通貨スワップとクーポンスワップ

第２回　デリバティブ業務に必要なリスク管理の基本

1．金融リスク総論
- ・リスク管理とバーゼル規制
- ・デリバティブ業務における金融リスクの種類

2．リスク管理のための確率・統計の基礎
- ・期待値、分散、標準偏差
- ・正規分布とその確率計算

3．VaR（バリュー・アット・リスク）の概要
- ・VaR の定義
- ・センシティビティー法によるリスクの把握
- ・金利感応度 ～ BPV と GPS
- ・非線形リスクとファットテールによるリスク
- ・VaR の様々な計測手法と期待ショートフォール（ES）

第３回　先物の理論価格とオプション

1．無裁定理論による先物の理論価格
- ・株式先物の理論価格
- ・為替フォワードと金利裁定
- ・ユーロ円金利先物の理論価格

2．オプションと裁定による複製について
- ・オプション理論のベース（無裁定理論と複製）
- ・プット・コール・パリティ
- ・オプション価格の考え方
- ・１期間２項モデルとリスク中立確率（エクセル）

第４回　正規分布とブラウン運動による原資産価格推移
- ・正規分布、対数正規分布、中心極限定理
- ・ブラウン運動の説明
- ・ブラウン運動による原資産価格の推移
  （幾何ブラウン運動：エクセル）
- ・ブラウン運動による２項モデル（エクセル）

第５回　２項モデルから BS 式へ
- ・２項モデルの考え方から連続モデルの導入へ
  （リスク中立化におけるブラウン運動）
- ・リスク中立評価法による BS モデルの説明

第６回　デリバティブ実践短期習得コース
シグマ１級検定試験

※カリキュラム内容は一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■予習用教材　「オプション学習のための数学基礎」

本コースのご受講にあたって知っておきたい数学の知識をコンパクトにまとめています（およそ 2 時間 50 分）。
基本テキストと講義資料、演習用エクセルを使って予習することができます。
数学が苦手な方、あまり知識がないとお考えの方は、第 3 回講義の前にご確認ください。

1．極限値と微分
・極限値の概念とその表現　・微分　・導関数の求め方　・金融への応用例
・テーラー展開とデュレーション、コンベクシティの関係　・偏微分の概念
2．積分と確率と統計のための補足
・積分の意味と計算　・連続型の確率変数と積分　・やや応用的な話題

Web-PA	【通信制スクール】いつでも受講可能、申し込み後すぐにスタート	
	不動産価値評価実務コース	

■本コースの特徴

- 様々なケーススタディを通じて、不動産の有効活用に必須である価格評価、不動産投資分析の知識が得られます。
- まず、不動産評価の基礎として、評価手法、リスク要因、投資採算分析を体系的に解説します。
- 続いて、賃貸用不動産と事業用不動産（オペレーショナル・アセット）の違いやそれぞれの収益構造・リスク特性、評価上の留意点について解説します。
- 最後に、不動産ノンリコースローンやプロジェクトファイナンスの仕組みと、キャッシュフロー分析・契約チェック・リスク評価を実務視点で学びます。

■受講対象者

- 金融機関において不動産・エクイティ投資を担当している方
- 企業の財務部門及び経営企画部門に従事している方
- 不動産ノンリコースローンやプロジェクトファイナンスの実務を知りたい方

■実施スケジュール

全 3 回講義＋検定試験（各 3 時間）

回	1	2	3	試験
担当講師	寺村淳			

※受講期間　3 か月間
※講義時間　9 時間（各回約 3 時間）
※受 講 料　143,000 円（税込）

■担当講師

株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ　執行役員 不動産鑑定士・中小企業診断士・宅地建物取引士	寺村　淳	第 1 回～第 3 回

株式会社グラックス・アンド・アソシエイツについて

会社紹介

株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ　［HP］ https://www.gracchus.co.jp/
デュー・ディリジェンスをベースとして「金融と不動産の融合」を掲げたコンサルティング・サービスを提供しています。財務、事業、不動産を専門とするグループが有機的に関連し合い、ワンストップサービス体制を確立することで、クライアントから厚い信頼を獲得しています。

■不動産価値評価実務コース／カリキュラム

第１回　不動産評価の基礎 ～ 評価手法・リスク要因・投資採算性分析

１．不動産評価の基礎

（１）不動産評価の意義
（２）不動産評価の概要
（３）不動産評価の手法
　（a）原価法　（b）取引事例比較法　（c）収益還元法

２．不動産のリスク要因

（１）留意すべきリスク要因
（２）リスク・リターンの関係

第２回　賃貸用不動産と事業用不動産（オペレーショナル・アセット）の評価

１．賃貸用不動産（オフィスビル・レジデンス等）の評価

（１）賃貸用不動産の調査・分析の視点
（２）賃貸用不動産のキャッシュフロー
（３）賃貸用不動産の評価手法
（４）ケーススタディ

２．事業用不動産（ホテル・リテール等）の評価

（１）事業用不動産の調査・分析の視点
（２）事業用不動産のキャッシュフロー
（３）事業用不動産の評価
（４）ケーススタディ

第３回　投資採算性分析とストラクチャード・ファイナンス

１．不動産の投資採算性分析

（１）分析手法
　（a）NPV 分析　（b）IRR 分析
（２）ケーススタディ

２．ストラクチャード・ファイナンスのリスクマネジメント

（１）不動産ノンリコースファイナンス
　(a) 分析の視点（キャッシュフロー分析、リスク分析、ストラクチャー分析）
　(b) ケーススタディ
（２）プロジェクトファイナンス
　(a) 分析の視点（キャッシュフロー分析、リスク分析、ストラクチャー分析）
　(b) ケーススタディ

第４回　不動産価値評価実務コース シグマ１級検定試験

〈第 144 期〉

■金融リスク管理コース

田渕　直也	シグマインベストメントスクール学長 シグマベイスキャピタル株式会社　シニアフェロー 株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング　代表取締役社長 金融アナリスト
略　歴	一橋大学経済学部卒。同年、日本長期信用銀行入行。デリバティブ・ディーリング、商品開発業務に従事後、同行海外証券子会社である長銀インターナショナル（ロンドン）に出向し、デリバティブ・ディーリングデスクのチーフ歴任。その後、UFJ パートナーズ投信（現三菱 UFJ アセットマネジメント）のファンドマネージャーとして、運用業務に従事後、株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング設立、現在に至る。主な著書に、『教養としての「金利」』（日本実業出版社、2023）、『この 1 冊ですべてわかる デリバティブの基本』（日本実業出版社、2022）、『「不確実性」超入門』（日経ビジネス人文庫、2021）、『この 1 冊ですべてわかる 新版 金融の基本』（日本実業出版社、2019）、『ファイナンス理論全史 儲けの法則と相場の本質』（ダイヤモンド社、2017）、『カラー図解でわかる金融工学「超」入門　投資のプロがやさしく教えるデリバティブ＆リスク管理の考え方（サイエンス・アイ新書）』（SB クリエイティブ、2015）、『入門実践金融 証券化のすべて』（日本実業出版社、2012）がある。ダイヤモンド・オンライン「Diamond マーケットラボ」、会社四季報オンラインにて有識者コラム連載中のほか、金融関連の啓蒙書、評論多数。

大塚　賢二	シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー 株式会社ファルチザン代表 兼 プリンシパルコンサルタント 米国ニューハンプシャー州公認会計士、日本証券アナリスト協会検定会員
略　歴	東京大学法学部卒業後、日本長期信用銀行入行。リスク統括等に従事。その後、大手金融機関や Big4 系コンサルティングファームなどに在勤し、コーポレート・ガバナンス、リスク管理、規制対応の実務やアドバイザリー・サービスに携わる。 2010 年、コンサルティング事業を起業。金融行政・各種規制に関する豊富な知見を活かし、大小金融機関や公的団体・内外企業の業務支援コンサルティングに従事。近年は政府機関の委嘱で、海外金融当局役職員の能力開発事業でも活躍。日本 CFO 協会グローバル CFO（米国 CTP）。公益財団法人日印協会会員。シグマインベストメントスクール「金融機関のリスク管理 基礎知識コース」講師を努める。主な著書・連載に、『デリバティブと金融技術革新』（中央経済社、共著）、『IT 大国インド最新事情』（SB クリエイティブ）がある。

尾木　研三	専修大学商学部　教授、慶應義塾大学理工学部 非常勤講師
略　歴	1988 年国民金融公庫（現：日本政策金融公庫）に入庫。総合研究所、総合企画部を経て、2008 年からリスク管理部でスコアリングモデルの開発に携わる。2017 年東京地区統轄室。2019 年より国民生活事業本部リスク管理部副部長。2022 年専修大学商学部准教授。2024 年より同教授。 2012 年早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了（MBA）、2017 年慶應義塾大学大学院理工学研究科修了（博士（工学）） 日本金融・証券計量・工学学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、応用経済時系列研究会、FinTech 協会会員 与信管理協会理事 主な著書に「スコアリングモデルの基礎知識」「AI 審査モデルの基礎知識 モデルのしくみと信用リスク管理」（一般社団法人 金融財政事情研究会）がある。

■コーポレート・ファイナンスコース

畠田　敬	神戸大学大学院経営学研究科　准教授
略　歴	流通科学大学商学部専任講師、日本大学経済学部助教授を経て、2005 年 4 月より神戸大学大学院経営学研究科准教授。博士（経済学・大阪大学）。所属学会は、日本経済学会、日本ファイナンス学会、日本金融学会。主要論文「日本における配当の硬直性」（2013 年、国民経済雑誌）、“Factors influencing corporate environmental protection activities for greenhouse gas emission reductions: The relationship between environmental and financial performance", （2012 年、Environmental and Resource Economics、共著）等

砂川　伸幸	京都大学経営管理大学院教授、（株）船井総研ホールディングス社外取締役
略　歴	新日本証券（現みずほ証券）、神戸大学助手、助教授を経て、2016 年 4 月より現職。博士（経営学）。日本ファイナンス学会理事、日本証券アナリスト協会試験委員、上場企業の独立委員、企業研修の講師などをつとめる。主な著書は「はじめての企業価値評価」（2015 年、日経文庫、共著）「日本企業のコーポレートファイナンス」（2008 年、日本経済新聞出版社、共著）、「コーポレート・ファイナンス入門」（日経文庫）。国内外に多数の論文を発表。

内田　芳樹	MDP ビジネスアドバイザリー株式会社代表取締役、ニューヨーク州弁護士 前 KPMG ビジネスアシュアランス株式会社 COO
略　歴	東京銀行入行。営業企画部法務室、ニューヨーク支店法務室、本店財務開発部 M&A（1990・1991 年度 No.1 M&A プレーヤー）、ロスアンゼルス支店、ユニオン銀行（加州）、東京三菱銀行コンプライアンス室等を経験。その後 Arthur Andersen Tax, Legal, Business Advisory Director、KPMG ビジネスアシュアランス（株）LRM 事業部統括 COO、KPMG Legal（日本）代表兼務後、KPMG より Legal ビジネスアドバイザリー部門を分離・独立、MDP ビジネスアドバイザリー株式会社を設立。早稲田大学大学院法学研究課卒（法学修士）、ジョージワシントン大学法学部卒（比較法学修士）、ジョージタウン大学法学部卒（法学修士）

松浦 総一	立命館大学経営学部 准教授
略　歴	2009 年 4 月より立命館大学経営学部准教授。博士（経営学・神戸大学）。所属学会は、日本会計研究学会、日本経済会計学会。 主な著書に「税務会計研究ハンドブック」(2024 年、同文舘出版、分担執筆)、「国際会計基準と日本の会計実務 3 訂補訂版」（2011 年、同文舘出版、分担執筆）がある。 主要論文「ブランド資本と起業の財務的特徴」（2022 年、デザイン科学研究）、「研究開発促進税制の効果と研究開発投資の現状」(2021 年、立命館経営学)、「On the relation between real and accounting earnings management: Income smoothing perspective」（2009, Journal of International Business Research）等

■イールドカーブ分析コース

高橋　豊治	中央大学商学部教授
略　歴	横浜市立大学商学部経済学科卒業。一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。 青山学院大学講師、千葉経済大学専任講師、シグマベイスキャピタル株式会社取締役研究開発部長、高千穂大学商学部教授、中央大学商学部教授、同学生部長を経て現職。

徳勝　礼子	BNP パリバ証券株式会社　チーフ金利ストラテジスト、APAC
略　歴	東京大学経済学部卒業、シカゴ大学統計 MBA。 ソロモン・ブラザーズでトレーディング部のクオンツ・サポートに携わった後、ドイツ証券などで金利ストラテジーを研究・推奨。その後、バークレイズ証券でクオンツ・金利ストラテジー担当、BNP パリバ証券 レラティブバリュー・ストラテジストを経て現職。CFA 協会認定証券アナリスト。著書に『マイナス金利－ハイパー・インフレよりも怖い日本経済の末路』（東洋経済新報社）等がある。

■スワップコース

田渕　直也　　（前掲）

中村　尚介	みずほ証券株式会社　リスク統括部　ディレクター
略　歴	日本債券信用銀行、興銀第一フィナンシャルテクノロジー、あおぞら銀行を経て、2012 年より現職。日本債券信用銀行では、本店で通貨オプションのアシスタント・ディーラー、アシスタント・カスタマーディーラー、通貨オプション・トレーディング・システム開発担当を経て、金利デリバティブ・プライシングモデルの開発・実装に携わる。 日本ファイナンス学会とアジアファイナンス学会との共同英文研究雑誌“International Review of Finance”の 2000 年 12 月号に、論文“Interest Rate, Currency and Equity Derivatives Valuation Using the Potential Approach”（Fan Yu 氏との共同執筆）が掲載される。その後も金融工学モデルに携わる業務に長年従事。 2014 年から慶應義塾大学経済学部のみずほ証券寄附講座「企業金融論 b」で『オプション』のコマを担当。 主な著書に、『インフレスワップ入門－物価変動を取引する市場』（金融財政事情研究会、2026）、『体験デリバティブ マルチカーブのもとでわかるハル・ホワイト・モデル』（金融財政事情研究会、2019）、『体験デリバティブ EXCEL でわかるハル・ホワイト・モデル【第 2 版】』（金融財政事情研究会、2004）がある。東京大学工学部金属工学科卒業。同年日本債券信用銀行入行。オプショントレーディング業務に携わる。1997 年よりドイツ銀行東京支店外国為替部ディレクターとしてオプションセールス業務を担当。その後 BNP パリバ銀行東京支店市場営業部長、カナダロイヤル銀行東京支店外国為替部長などを歴任。

■オプションコース（実務・応用編）

平山　裕康	一般社団法人 日本 CFO 協会研究会員
略　歴	東京大学工学部金属工学科卒業。同年日本債券信用銀行入行。オプショントレーディング業務に携わる。1997 年よりドイツ銀行東京支店外国為替部ディレクターとしてオプションセールス業務を担当。その後 BNP パリバ銀行東京支店市場営業部長、カナダロイヤル銀行東京支店外国為替部長などを歴任。

〈第 143 期〉

■クレジットリスク分析コース

小林　武	シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー 名古屋商科大学ビジネススクール 教授　博士（経営学）
略　歴	慶應義塾大学商学部卒業。同年、東京銀行に入行。フランスグランゼコール HEC 経営大学院留学、ファイナンス修士。筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士（経営学）。格付投資情報センター、バークレイズ・グローバル・インベスターズ、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、NS フィナンシャルマネジメントコンサルティング（日鉄ソリューションズ子会社）にて企業評価、資産運用、リサーチ業務等に従事。2014 年より名古屋商科大学および大学院にてファイナンスおよび経済学の講義を担当。研究分野はファイナンス（資産価格評価モデル、ポートフォリオ最適化）、応用計量経済学。 日本ファイナンス学会、日本経済学会、日本金融・証券計量・工学学会、日本保険・年金リスク学会、European Finance Association 所属。

菅野　正泰	シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー 日本大学商学部教授　博士（経済学）
略　歴	早稲田大学理工学部卒業。同年、農林中央金庫入庫。国際業務を皮切りに市場業務、金融技術業務、IT 業務、リサーチ業務等に従事。2001 年新日本監査法人（現・EY 新日本有限責任監査法人）に移籍し、アーンスト・アンド・ヤング（EY）のグローバルメンバーとして、国内外の主要金融機関・金融庁等に対するリスクマネジメント・アドバイザリー業務等に従事。2003 年一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了（金融戦略 MBA）。2006 年京都大学大学院経済学研究科ファイナンス工学講座博士後期課程修了。2009 年神奈川大学経営学部准教授。2016 年より現職。近年トップクラスの国際ジャーナルに多数論文を掲載。 主要著書に『信用リスク評価の実務』（中央経済社）、『入門 金融リスク資本と統合リスク管理』（金融財政事情研究会）等がある。 現在、「新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大」の金融証券市場への影響を複雑ネットワーク理論により解明することを企図。国内学会および国際学会の役員や公的機関のリスク管理・ファイナンス関連委員会の委員を多数務める。アジア太平洋リスク保険学会 APRIA ジャーナル最優秀論文賞受賞（2015 年、2017 年）。アジアにおけるリスク管理・保険数理のリーダー的存在。

富安　弘毅	LSEG（ロンドン証券取引所グループ）ポスト・トレード 日本責任者 および ポスト・トレード・ソリューション アジア太平洋地域責任者
略　歴	一橋大学で国際金融、同大学院国際企業戦略研究科で金融工学を専攻。米国 UCLA アンダーソンスクールにて MBA を取得。 日本政策投資銀行、モルガン・スタンレーMUFG 証券にて 30 年超にわたりリスク管理業務、XVA のトレーディング業務に携わり、2025 年から LSEG（ロンドン証券取引所グループ）にてリスク管理ソリューション、資本や証拠金の最適化などの責任者を務める。 主な著書に『カウンターパーティーリスクマネジメント』（金融財政事情研究会）、『ファイナンス計量分析入門』（東洋経済新報社、共著）、『リスクマネジメントの本質』（共立出版、共訳）、『信用リスクモデル入門』（東洋経済新報社、共訳）がある。

■オプションコース

猪田　義浩	シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー
略　歴	東京理科大学理学部応用数学科卒業。同年、日本債券信用銀行入行。同行オプションチームにて、為替、株、金利等デリバティブのインターバンク取引に従事。米国スタンフォード大学統計学科修士課程修了後、証券会社、スワップハウスなどでデリバティブのチーフトレーダーとして長年活躍。2008 年、シグマベイスキャピタル株式会社入社。同社研究開発部主任研究員、特別研究員を歴任。

平山　裕康（前掲）

〈通信制〉（e-Learning を使っていつでも受講可能）

■「研究科」金利モデルコース

村上　秀記	経済学博士
略　歴	元メリルリンチ証券マネージング・ディレクター、19 年にわたる金利・為替デリバティブトレーダー、ストラクチャリングの経験を経て、2012 年～2021 年、横浜国立大学成長戦略研究センター客員教授。 横浜国立大学経済学部卒業。 一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了。 横浜国立大学国際社会科学研究科博士課程修了。

■「研究科」キャッシュフロー分析応用コース（粉飾の発見と企業再生）

久保田　政純	シグマベイスキャピタル株式会社　フェロー 株式会社カクタス インベスト 代表取締役社長 中小企業コンサルタント
略　歴	東京大学経済学部卒業後、日本興業銀行入行。審査部、外国部アジア班、ジャカルタ駐在。和光証券事業法人本部部長などを経て、1989 年経営コンサルタント開業。公認会計士第三次試験委員、常磐大学国際学部教授、明治大学大学院グローバルビジネス学科非常勤講師、麗澤大学・大学院特任教授を歴任。国内外における審査の第一人者。実際の企業経営に長年従事するなど実務経験も豊富。主な著書に『設備投資計画の立て方』（日本経済新聞社）、『企業審査ハンドブック』（編著・日本経済新聞社）、『実務家のためのキャッシュフロー分析と企業価値評価』（シグマベイスキャピタル）、『国際ビジネスファイナンス　第 12 版』（監訳・麗澤大学出版会）がある。

■デリバティブ実践短期習得コース

猪田　義浩　　（前掲）

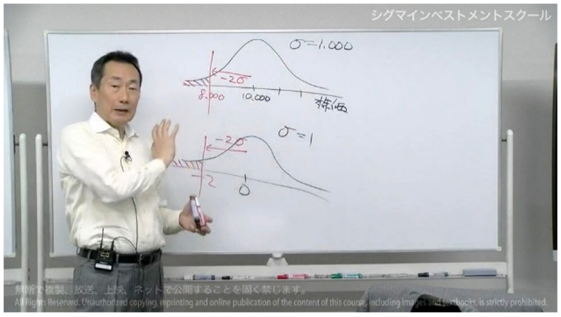
田渕　直也　　（前掲）

■不動産価値評価実務コース

寺村　淳	株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ　執行役員 不動産鑑定士・中小企業診断士・宅地建物取引士
略　歴	早稲田大学政治経済学部卒。約 30 年にわたり不動産関連業務に従事。 大手生命保険会社にて不動産のアクイジション・アセットマネジメント・開発プロジェクトの推進、ストラクチャード・ファイナンス等、幅広い業務に従事した後、大手鑑定事務所の外資系企業担当チームにて不動産鑑定評価業務に従事。株式会社グラックス・アンド・アソシエイツでは、不動産アドバイザリー、不動産投資・M&A サポート、デュー・ディリジェンス等の不動産コンサルティング業務を担当。

授業風景

金融リスク管理コース（田渕直也先生）

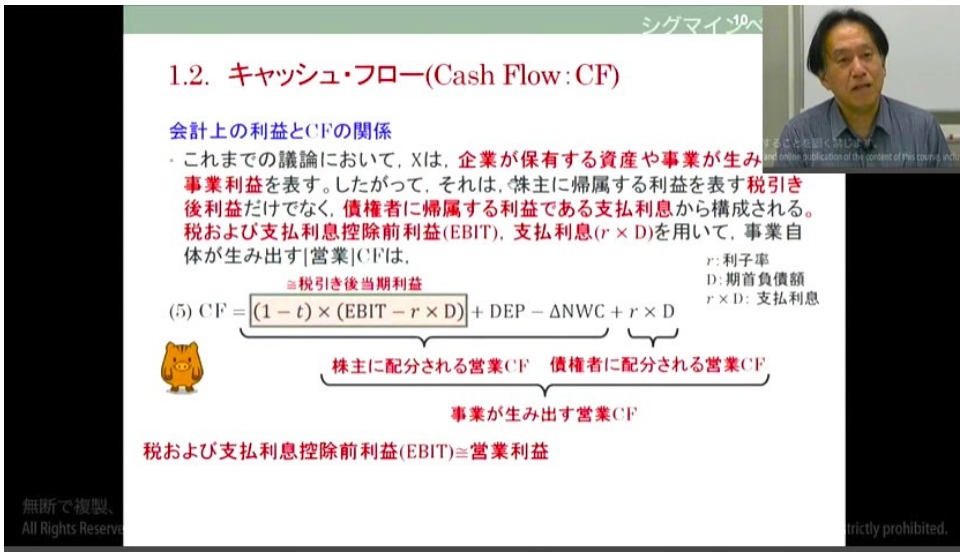


金融リスク管理コース（大塚賢二先生）

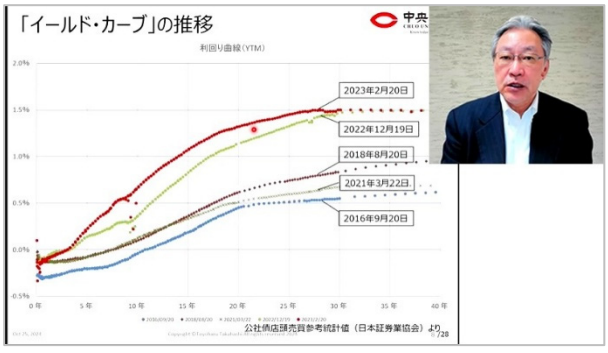
銘柄A株価 前日比変動(円)	銘柄A2,500株の1日の損益 変動額データ(円)	データ数 (個)
＋135	＋135円×2,500株＝337,500	1
＋134	＋134円×2,500株＝335,000	0
＋133	＋133円×2,500株＝332,500	0
＋132	＋132円×2,500株＝330,000	0
：	：	：
＋33	＋33円×2,500株＝82,500	3
＋32	＋32円×2,500株＝80,000	2
＋31	＋31円×2,500株＝77,500	4
：	：	：
＋3	＋3円×2,500株＝7,500	6
＋2	＋2円×2,500株＝5,000	9
＋1	＋1円×2,500株＝2,500	8
＋0	＋0円×2,500株＝0	7
－1	－1円×2,500株＝－2,500	13
：	：	：
－49	－49円×2,500株＝－122,500	3



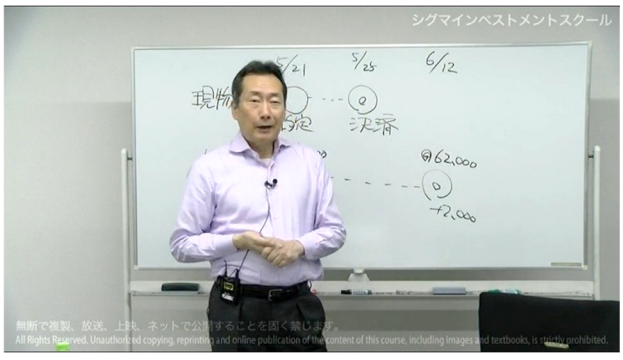
コーポレート・ファイナンスコース（畠田 敬先生）



イールドカーブ分析コース（高橋豊治先生）



スワップコース（田渕直也先生）



開講予定コースのご案内

第 145 期および通信制においては、下記コースの開講を予定しています。
是非、年間研修計画の中でお取扱いのご予定をいただきたくお願い申し上げます。

期	コース コード	コース名	講義回数	開催期間 （予定）
145 期	145-DS	デリバティブ実践短期習得コース	5 回＋試験	2027 年 1 月中旬 ～ 3 月中旬
	145-PF	プロジェクトファイナンス実践応用コース	5 回＋試験	
	145-SW2	スワップコース（実務・応用編）	5 回＋試験	
通信制	Web-IM	「研究科」金利モデルコース	10 回＋試験	随時受付
	Web-RV	「研究科」キャッシュフロー分析応用コース	5 回+試験	
	Web-FE	金融工学コース【全面改訂】	10 回＋試験	
	Web-DS	デリバティブ実践短期習得コース	5 回＋試験	
	Web-PA	不動産価値評価実務コース	3 回＋試験	

（注 1）事情により開講コースが変更となる場合があります。
（注 2）すべてのコースの詳細は、ホームページをご覧ください。
https://www.sigmabase.co.jp/school/courselist.html

お試し受講のご紹介

専門科を体験していただくため、一部の講義をお試し受講できます。弊社担当者からスクールのご説明もいたします。現在、下記のコース・単元をご覧になれます。
ご希望の方は、当社教育開発部（03-6222-9843）までご連絡ください。

お試しコース	回	単元	時間
「研究科」金利モデルコース	6	金利の数学的定義	約 23 分
「研究科」キャッシュフロー分析応用コース	2	粉飾の見分け方	約 39 分
スワップコース	2	スポットレート（ゼロレート）の重要性	約 20 分
	9	信用エクスポージャーの推定	約 54 分
クレジットリスク分析コース	1	金融機関の業務とクレジットリスク	約 36 分
オプションコース	1	オプションという商品の特性	約 19 分
金融リスク管理コース	1	金融リスク概観	約 63 分
	3	ロジスティック回帰分析	約 58 分
コーポレート・ファイナンスコース	1	投資決定	約 53 分
イールドカーブ分析コース	2	イールドカーブの基礎	約 28 分
デリバティブ実践短期習得コース	3	無裁定理論による先物の理論価格	約 52 分
不動産価値評価実務コース	2	事業用不動産（ホテル等）の評価	約 32 分

※お試しコースは、順次追加してまいります。

個人情報の取扱いについて

2025 年 1 月 20 日改訂

1．事業者の名称
シグマベイスキャピタル株式会社
東京都中央区日本橋蛎殻町 1-21-4　セーラー第 3 ビル 4 階　　代表取締役　清水　正俊

2．管理者（若しくはその代理人）の氏名又は職名、所属及び連絡先
個人情報保護管理者：取締役社長　荒崎 秀一　　連絡先：電話 03-6222-9841

3．個人情報の利用目的

分類		利用目的
（1）ご本人より直接書面等（ホームページや電子メール等によるものを含む。以下「書面」という）に記載された個人情報（保有個人データ）を取得する場合の利用目的		
	お申込みされたご本人または研修派遣責任者	教育事業におけるサービスの提供及び商品の発送、関連するアフターサービス、新商品・サービスの案内（同意を頂いた方については電子メールを含む）のため
	株主情報	情報公開、配布物の送付、連絡のため
	取引先情報	商談及び業務上の諸連絡、受発注業務、請求支払業務のため
	従業者情報	従業者の人事労務管理、業務管理、健康管理、セキュリティ管理のため。 個人番号関係事務を処理するため。
	採用応募者情報	採用業務のため
	お問合せ者情報	お問合せにお答えするため
（2）ご本人より直接書面以外の方法で取得する（保有個人データ以外の）個人情報の利用目的		
	法人・団体を通したお申込みの方	受託業務の仕様作成、教務対応、成績報告等の業務のため
	協力会社要員情報	委託先の講師プロフィールによるスキル管理のため。 個人講師の場合、個人番号関係事務を処理するため。
	採用応募者情報	リクナビ・マイナビ等就職斡旋サイトや人材紹介会社からの採用応募者に対する採用選考のため

4．保有個人データの安全管理のための措置
当社では保有個人データ（当社が取得しようとしている個人情報であって、保有個人データとして取り扱われることが予定されているものを含む）の安全管理のために以下の措置を講じています。
- JIS Q 15001:2017 に沿った全社的な個人情報保護マネジメントシステムの運用
- 従業員への教育、非開示義務の誓約の取得、委託先管理などの人的セキュリティ
- ウイルス対策、通信の暗号化、ファイル操作ログ取得、アカウント管理など技術的セキュリティ
- 室・保管庫の施錠管理、入退制限の措置などの物理的セキュリティ
- 業務委託する際には業務と情報内容に照らした適切な安全管理の状況であるかの審査と契約による管理

5．個人情報の第三者提供
当社では取得した個人情報を、ご本人の同意が得られた場合または法律に定められた例外を除き、第三者に提供しません。

6．個人情報取扱いの委託
当社は事業運営上、お客様により良いサービスを提供するために業務の一部を外部に委託しています。業務委託先に対は、個人情報を預けることがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持などによりお客様の個人情報の漏洩防止に必要な事項を取決め、適切な管理を実施させます。

7．保有個人データの開示等の請求
お客様は、当社に対してご自身の保有個人データの開示等（利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加・削除、利用の停止または消去、第三者への提供の停止、第三者提供記録の開示）に関して、当社「個人情報に関するお問合わせ窓口」に申し出ることができます。その際、当社はお客様ご本人を確認させていただいたうえで、合理的な期間内に対応いたします。開示等の申し出の詳細につきましては、下記の「個人情報に関する苦情・相談窓口」までお問い合わせください。

8．個人情報を提供されることの任意性について
お客様が当社に個人情報を提供されるかどうかは、お客様の任意によるものです。ただし、必要な項目をいただけない場合、各サービス等が適切な状態で提供できない場合があります。

9．ご本人が容易に認識できない方法による取得する場合について
クッキー（Cookies）は、お客さまが当社のサイトに再度訪問された際、より便利に当サイトを閲覧していただくためのものであり、お客さまのプライバシーを侵害するものではなく、またお客さまのコンピューターへ悪影響を及ぼすことはありません。
また当社のサイトでは個人情報を入力していただく部分にはすべて SSL（Secure Sockets Layer）のデータ暗号化システムを利用しております。さらに、サイト内における情報の保護にもファイアーウォールを設置するなどの方策を採っております。ただし、インターネット通信の性格上、セキュリティを完全に保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

10．認定個人情報保護団体について
当社は、次の認定個人情報保護団体の対象事業者となっております。
認定個人情報保護団体の名称及び、苦情の解決申出先は、以下のとおりです。
- 認定個人情報保護団体の名称　一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）
- 苦情の解決の申出先　認定個人情報保護団体事務局　苦情相談室
- 住　所　　東京都中央区築地一丁目 13 番 14 号　NBF 東銀座スクエア 2 階
- 電話番号　03-6264-1318　　・受付時間　10：00～16：00（土、日、祝日休み）

（注）当社の商品・サービスに関する問合せ先ではございません。



【個人情報に関する苦情・相談窓口】
お客様の個人情報に関するお問合せにつきましては、下記窓口で受付けております。

個人情報相談窓口責任者：取締役社長　荒崎 秀一　お問い合わせフォーム：https://www.sigmabase.co.jp/inquiry

受託研修・講師派遣サービスのご案内

シグマインベストメントスクールでは、本誌にてご案内する専門科コースの他に、各法人様の個別のニーズに合わせた、受託型研修プログラムの実施も承っております。

◆弊社担当者が御社のご希望をお伺いし、最適なカリキュラム案をご提示いたします。
◆受講生の理解度を把握するための各日毎の講義終了後の小テストの実施や、全講義終了後の本格的な確認試験の実施などにもお応えいたします。
◆会場として法人様指定の場所（会議室等）以外にも、弊社近隣の貸会場を使用することもできます。また、Excel やプログラミング演習等も行うことができます。
◆受託型の研修は新入社員・新規配属者向け、中堅社員向け、特定部署社員向け研修等を問わず、年間を通して承っております。

研修のご相談やプログラムの詳細については 弊社（03-6222-9843）までお気軽にお問合せください。

～ 研修プログラムの例 ～

1．新入社員 ／ 新規配属者向け研修

1 「新入社員（新規配属者）向け研修」 金融ベーシックプログラム／アドバンス・コース
2 「金融市場・金融理論の基礎知識」研修
3 「金利と債券に関する基本数理」研修
4 「会計財務ベーシック」研修
5 「新入社員（新規配属者）向け研修」 コーポレートファイナンスプログラム
6 「新入社員（新規配属者）向け研修」 金融法務プログラム
7 Basic Financial Training Course (English Class)

2．一般社員向け研修

1 「デリバティブ」研修（初級・基礎レベル）（中級・応用レベル）
2 「ストラクチャード・プロダクツ」研修
3 ミドル・バックオフィス社員対象 「デリバティブ（先物・オプション）」研修
4 「クレジットデリバテイブ」研修
5 「ファイナンス」研修（基礎レベル）
6 「ポートフォリオ管理」研修（基礎レベル）
7 「ディスカウント・キャッシュフロー」研修
8 「証券化」研修
9 「債券投資基礎」研修 ～ 社債ポートフォリオの信用リスク管理 ～
10 「証券化商品のリスク管理」研修
11 「リスク管理基礎」「リスク管理実務」研修
12 「OTC（店頭取引市場）デリバティブ業務フロー」研修
13 「M&A 実務」研修
14 「財務分析と財務モデリング」ワークショップ
15 Corporate Finance Course (English Class)

3．ミドル／シニア社員向け研修

1 「市場リスクとポートフォリオ管理」研修
2 プロジェクトファイナンス研修（完全版／基礎編／電力編／資源編）
3 再生エネルギー事業のための「財務モデリング」演習
4 「富裕層ビジネス／富裕層顧客への提案」研修
5 異文化コミュニケーション研修
6 「シニア PB 総合提案書作成」演習

予告

INVESTMENT SCHOOL

専門科『金融工学コース』

2008 年から開講してきた「金融工学コース」
今秋、新しい先生をお招きし、すべて新しいプログラムで募集を開始します。

◆ 受講期間　6 か月
すべてオンラインで受講いただけます

◆ 受講料　385,000 円（税込）

✓ 本コースの特徴

・デリバティブ評価とリスク管理を貫く共通原理（無裁定・マルチンゲール・測度変換）を理解し、株式・金利・信用という主要分野にどのように活用されるかが分かります。
エクセル等を用いた演習をふんだんに取り入れたカリキュラムです。
・他の「専門科・研究科」コースへのハブとして位置するコースです。より専門的なコースへの橋渡しになるよう、洗練されたモデルや高度な数理モデルなど、発展的知識も紹介します。
・ブラック・ショールズ方程式の数学的導出を行うほか、伊藤の補題・ギルサノフの定理・ラドンニコディムの定理など、重要な定理も利用します。
・金融工学における AI の活用事例も紹介します。

✓ カリキュラム

第 1 回	派生証券理論の導入：2 項モデルに基づくオプション価格付け
第 2 回	連続時間モデルの導入
第 3 回	ブラック・ショールズ方程式：公式の導出
第 4 回	ヨーロピアンオプションの性質
第 5 回	計算ファイナンス
第 6 回	マルチンゲール・アプローチ：ニューメレールの選択による統一的評価法
第 7 回	金利モデルと金利デリバティブ（1）
第 8 回	金利モデルと金利デリバティブ（2）
第 9 回	金融リスク管理と Value at Risk
第 10 回	信用リスク評価とクレジット・デリバティブ

✓ 講師

今井 潤一（慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授）

専門科「金融工学コース」　お申込みはこちら

【URL】
https://www.sigmabase.co.jp/school/course/web/fe.html

携帯電話・スマートフォンからは右の二次元コードからもお申込みできます。

グマインベストメントスクール［**研究科・専門科**］受講申込書　（個人・法人様兼用）

【 ＦＡＸ 】 ０３－６２２２－９８４２

シグマベイスキャピタル株式会社　行

下記のとおり、シグマインベストメントスクール「研究科・専門科」に申し込みます。

	コースコード	コース名
144期	144-FR	金融リスク管理コース
	144-CF	コーポレート・ファイナンスコース
	144-YC	イールドカーブ分析コース
	144-SW	スワップコース
	144-OP2	オプションコース（実務・応用編）

	コースコード	コース名
143期	143-CR	クレジットリスク分析コース
	143-OP	オプションコース

	コースコード	コース名
通信制	Web-IM	「研究科」金利モデルコース
	Web-RV	「研究科」キャッシュフロー分析応用コース
	Web-DS	デリバティブ実践短期習得コース
	Web-PA	不動産価値評価実務コース

※本誌の 「個人情報の取扱いについて」 に同意の上でお申し込みください。

☑ 【個人情報の取り扱い】 に同意します。

□個人　　□法人　　※どちらかにチェック（✔）をご記入ください。

ﾌﾘｶﾞﾅ 法人名 または氏名					
郵便番号	―				
ﾌﾘｶﾞﾅ 住　所					
ご担当者 氏　名 （連絡窓口）	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏名		所属		
			役職		TEL
			E-mail		
派遣責任者 氏　名 （成績報告先）	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏名		所属		
			役職		TEL
			E-mail		

参加者	申込み コースコード	フリガナ 氏　名		所　属	
				役　職	
				ＴＥＬ	
				E-mail	
	申込み コースコード	フリガナ 氏　名		所　属	
				役　職	
				ＴＥＬ	
				E-mail	
	申込み コースコード	フリガナ 氏　名		所　属	
				役　職	
				ＴＥＬ	
				E-mail	

※　４名以上お申込みの場合には、本ページをコピーしてご使用ください。

領収証	要 ・ 不要	宛名 ： ①御社宛　②その他（　　）

※　領収証がご不要な場合またはご希望の記載がない場合、金融機関の振込受領書をもってこれに代えさせていただきます。また、領収証の再発行はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※　お申込みコースの開催が確定次第、受講料のご請求書をお送りいたします。定員オーバーの場合は先着順とさせていただきますのでご了承ください。また、一定の人数に達しないコースは開講しないこともありますので、重ねてご了承ください。

※　クレジットカード決済をご希望の場合は、弊社ホームページからお申込みください。
https://www.sigmabase.co.jp/school/index.html